

高文連

第 25 号

山口県高等学校文化連盟

山口県高等学校文化連盟には16の専門部会があります

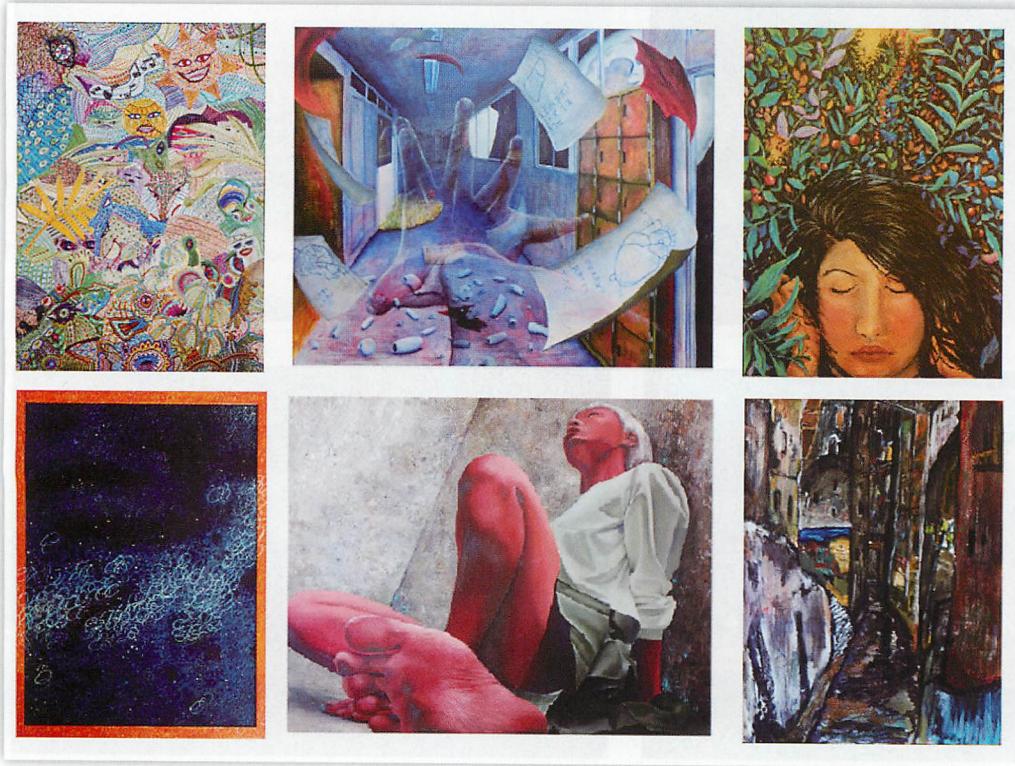
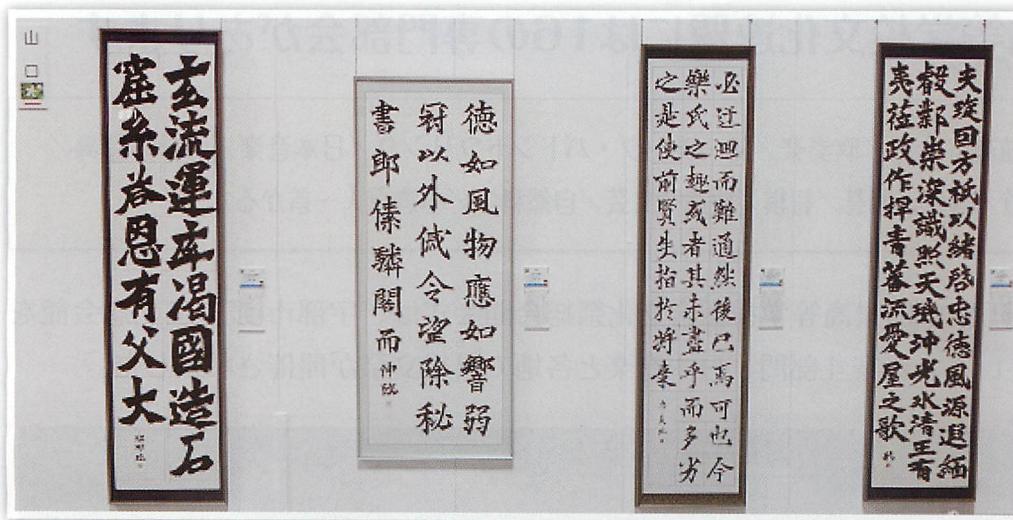
演劇／器楽・管弦楽／合唱／吹奏楽／マーチング・バトントワリング／日本音楽／吟詠剣詩舞／
美術・工芸／書道／写真／囲碁／将棋／放送／文芸／自然科学／小倉百人一首かるた

平成25年度第35回山口県高等学校総合文化祭総合開会式は、宇部市 渡辺翁記念会館を会場に行われ、続いて、音楽4部門、日本音楽と各地で県総文祭が開催されました。



全国高等学校総合文化祭出品作品

書道部門・写真部門・美術・工芸部門



高文連

第 25 号

もくじ

ごあいさつ	1
第35回山口県高等学校総合文化祭総合開会式（音楽4部門発表会）の報告	2
各部門の報告	
器楽・管弦楽部門	5
合唱部門	8
吹奏楽部門	10
美術・工芸部門	12
書道部門	15
写真部門	17
日本音楽部門	19
囲碁部門	21
演劇部門	23
放送部門	25
将棋部門	27
文芸専門部門	29
マーチングバンド・バトントワリング部門	30
自然科学部門	31
小倉百人一首かるた部門	34
全国高等学校総合文化祭に参加して	35
自主事業・補助事業の報告	36

参考資料

平成25年度 山口県高等学校文化連盟 事業報告	40
平成25年度 山口県高等学校文化連盟会計決算書	41
平成26年度 山口県高等学校文化連盟 事業計画	42
平成26年度 山口県高等学校文化連盟会計予算書・調整基金会計予算書	43
山口県高等学校文化連盟規約	44
山口県高等学校文化連盟諸規程	48
山口県高等学校文化連盟表彰規程	49
山口県高等学校文化連盟旅費支給基準	51
平成25・26年度 山口県高等学校文化連盟役員一覧	52
全国高文連の歌	54

ごあいさつ



山口県高等学校文化連盟

会長 西村佳子

ここに、平成25年度の山口県高文連の歩みを記した集録ができあがりました。

本連盟は昭和62年6月に発足し今年で27年になります。本年度は小倉百人一首かるた専門部が立ち上がり、本連盟15番目の専門部となりました。地道に活動を続けてきた生徒たちに、全国高等学校総合文化祭への参加の道を開くことができたうれしい専門部の立ち上げとなりました。本連盟は、県内外のさまざまな文化・芸術活動への参加の拠点として、高校生の創造力の育成と豊かな心の醸成を支援していきたいと考えています。

さて、本年度の第35回山口県高等学校総合文化祭は、「はばたけ 情熱の空へ 韶け 感動の波」をテーマに開催されました。このテーマには、高校生の若いエネルギーと、高みを目指して突き進む強い意志が感じられます。6月13日には、総合開会式が宇部市において盛大に開催されました。当日の代表生徒の堂々たるあいさつ、慶祝演奏、慶祝展示は、高校生の情熱と力強さを感じさせる、見応え、聞き応えのあるすばらしいものとなりました。

各専門部の大会は、5月の将棋から、11月の放送、写真、書道まで、7か月にわたって、県内各地で開催されました。文化部は他校の生徒と一緒に活動する機会が少ないので実情で、部門別の総合文化祭は生徒同士の貴重な交流の機会となっています。また、各分野の専門家が講師や審査員として招聘され、直接指導に当たってくださり、文化・芸術の深みに触れることができます。各大会を運営されました主管校や顧問の先生方にこの場を借りてお礼申し上げるとともに、今後も一層充実した大会にしていただきますよう、お願い申し上げます。

7月には第37回全国高等学校総合文化祭が長崎県で開催され、本県からは14部門、28校、236名が参加しました。全国のレベルを体感しつつ、持てる力を十二分に發揮して、すばらしい演奏や競技、作品展示をしてくれました。他県の生徒たちとの交流も行うこともでき、有意義な5日間となりました。持ち帰った全国の風を日々の活動に生かし、次年度の茨城大会ではさらによい成果が發揮できるよう頑張ってほしいと思います。

そのほか、本連盟では高校生が優れた文化や芸術に直接ふれあい感性を高めることを目的に、自主文化事業や補助事業を企画し、希望の学校で開催しています。次年度は補助事業に新たなジャズバンドの公演を加えました。今後も、より多くの高校生に参加していただける文化・芸術活動を積極的に企画していきたいと考えています。

終わりに、本連盟の活動に御支援、御協力を賜りました関係者の皆様に心から感謝し、厚くお礼申し上げまして、発刊の御挨拶といたします。

第35回 山口県高等学校総合文化祭

総合開会式（音楽4部門発表会）の報告

主管校 河本展子
(宇部中央高等学校教諭)

総合開会式の記録

平成25年6月13日（木）「はばたけ 情熱の空へ 韶け 感動の波」のテーマのもと、第35回山口県高等学校総合文化祭の総合開会式が行われました。前年度、主管校をお引き受けしたものの、担当の河本、福間両名ともこのような大きな式典の運営は初めての体験で、とまどうことがたくさんありました。結果的には、高文連事務局の先生方、各専門部理事長の方々、そして宇部地区の関わってくださった多くの先生方に大変ご迷惑をかけ、ご指導いただきながら、なんとか当日を迎えることができました。当日は本校・宇部地区的スタッフの先生方がそれぞれの経験を生かしながらきべきと指示をされ、本校の生徒たちもよく動いてくれて、無事終了することができました。

前年度までの予定では、本校の観客動員は1年のみでした。当日、1年は3限まで授業をした後、会場となる渡辺翁記念会館まで2km弱の道のりを徒歩・自転車（またはバス）で移動することにしていました。2、3年については、文化部と生徒会のメンバーだけスタッフとして参加し、そのほかの生徒は平常授業を受けることにしていました。しかし、当日の教員、生徒の負担が大きいということと、せっかくの機会なので全校生徒を参加させたいということで、4月に入ってからの職員会議で急遽予定変更し、当日は全学年とも観客動員して、現地集合させました。これで、学校あげての総合文化祭総合開会式の支援体制ができ、学校から渡辺翁記念会館までの交通手段を考える必要もなくなりました。おかげで、本校生徒全員が総合開会式の式典に参加し、慶祝演技・演奏や慶祝展示を鑑賞することができました。慶祝演技・演奏で行われたバトンツーリングや和太鼓、吹奏楽、オーケストラは、本校にはない部活動で、生徒たちは熱心に鑑賞していました。また、本校の福間

教諭による指揮のもとでの、ハレルヤ・コラスでは、各地から集まっていたステージいっぱいのオーケストラと合唱部員による演奏に感動していました。堂々とした音が、音響がすばらしいと言われる渡辺翁記念会館に響きわたっていた時、私自身も体にここちよい振動を感じて、心からうれしく思いました。

渡辺翁記念会館は、昭和12年に竣工されたという宇部市が誇る文化遺産で、平成17年に国の重要文化財に指定されています。近年新しく建造されたホールに比べると、通路など狭く、ステージの雛壇はその都度人手によって出し入れしなければなりません。前年度、山口市で拝見した総合開会式の式典での高文連各部門紹介は、スクリーンで活動状況が映像で表示され、とてもわかりやすくスマートでした。そこで、今年度渡辺翁記念会館でも、ステージ上にプラカードを並べて各部門を紹介する従来のやり方ではなく、スクリーンで映像を流しながら部門紹介を行いたいと考えていました。しかし、渡辺翁記念会館ではステージに組み上げたひな壇と天井の反響板と天井からつり下ろすスクリーンとは両立しないということが3月にわかりました。解決方法が見つかり事なきを得ましたが、何度も会館に足を運んで、ホールのステージ担当の方には大変お世話になりました。

今年度主管校を引き受けるにあたり、24年度の山口地区、23年度の光地区の資料を主に参考にさせていただきましたが、ホールについては、全く作りが違いました。平成19年度に渡辺翁記念会館で総合開会式を行ったときの資料が残されていれば、どれほど助かったことかと思っています。次回宇部地区がまたお引き受けすることになったときのために、学校のほうでも資料を保存しておこうと思います。（そのときはまた状況が変わって

いるかもしれませんので役に立つかはわかりませんが。)

今回のステージや慶祝展示に参加してくださった文化部の生徒の皆さん、観客動員で来てくださった宇部工業高校と慶進高校の皆さん、参加生徒を引率・ご指導いただいた先生方、そして不慣れな私たちを見守ってくださった多くの先生方、本当にありがとうございました。宇部の地でお会いできましたご縁と平成25年度の総合文化祭の総合開会式が無事行われましたことに心から感謝しています。

◎式典 次第

◇開会宣言 (宇部中央高等学校) 戸森 美穂

◇ファンファーレ

◇専門部16部門紹介

◇主催者挨拶

山口県高等学校文化連盟会長 西村 佳子

山口県教育委員会教育長 田邊 恒美

宇部中央高等学校代表生徒 伊賀 友弥

◇歓迎の言葉 宇部市長 久保田后子

◇来賓紹介

◇表 彰

(1) 功績賞

松井 誠

(前会長・前山口県立山口中央高等学校長)

山口県高等学校文化連盟会長を3年にわたって勤め、本連盟ならびに本県芸術文化活動の発展に寄与された功績による。

(2) 優秀芸術文化賞

該当なし

(3) テーマ最優秀賞

鵜飼 優也 (宇部中央高等学校)



〔進行〕宇部中央高等学校演劇部

〔ポスター原画制作〕中村 光里

(宇部中央高等学校)

◎慶祝演技・演奏

◇バトントワリング 『Revolution』

【演技】慶進高等学校

◇日本音楽 『焰・流伝・古武』

【演奏】宇部鴻城高等学校

◇吹奏楽 『アレルヤ・ラウダムステ』

【演奏】宇部地区高等学校吹奏楽団

〈指揮〉松田 廉遵 (宇部鴻城高等学校)

◇器楽・管弦楽・合唱

『カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」』

『オラトリオ《メサイア》より

「ハレルヤ・コーラス」』

『翼をください』

【演奏】山口県高等学校管弦楽団・合唱団

〈指揮〉福間恵美奈 (宇部中央高等学校)

合同演奏出校

【宇部地区高等学校吹奏楽団】

宇部 宇部西 宇部商 小野田 宇部鴻城
各高等学校

〔山口県高等学校管弦楽団・合唱団〕



柳井 山口中央 防府 下関南 岩国 萩
山口 野田学園 萩光塩学院 慶進 宇部中
央 各高等学校



- ◇ [写真] 宇部工業 宇部 各高等学校
- ◇ [演劇] 大会風景パネル写真
- ◇ [囲碁] 大会風景パネル写真
- ◇ [将棋] 大会風景パネル写真
- ◇ [放送] 大会風景パネル写真
- ◇ [文芸] 大会風景パネル写真

○祝賀展示

宇部フロンティア大学付属香川 慶進

サビエル 宇部 宇部商 宇部西 宇部中央

各高等学校



◎慶祝展示

◇ [美術・工芸]

宇部フロンティア大学付属香川 慶進
サビエル 宇部 宇部商 宇部西 宇部中央
各高等学校

◇ [書道]

宇部西 宇部中央 徳山 山口 下関南
各高等学校



各部門の報告

器楽・管弦楽部門

理事長 飯田 幸生
(下関南高等学校教諭)

山口県高等学校文化連盟器楽・管弦楽部門では
今年度、次のような事業を行いました。

1 平成25年度第35回山口県高等学校総合文化祭総合開会式における、合唱部門との合同による慶祝演奏

期 日：6月13日(木)

場 所：宇部市渡辺翁記念会館

演奏曲目：ヘンデル作曲／オラトリオ《メサイア》から“ハレルヤ・コーラス”

佐藤真作曲／カンタータ《土の歌》
より“大地讃頌”

村井 邦彦作曲／《翼をください》

指揮：福間 恵美奈

第35回山口県高校総文の記録

音楽4部門発表会

器楽・管弦楽部門

会場：宇部市渡辺翁記念会館

理事長 飯田 幸生（下関南高等学校教諭）

平成25年度第35回山口県高等学校総合文化祭の音楽関係4部門発表会は6月14日（金）、15日（土）の二日間にわたり宇部市渡辺翁記念会館において開催されました。また、前日13日の総合開会式においては、満員の聴衆のもと、合唱部門との合同で慶祝演奏を行いました。

昨年度は予算の関係により、縮小された形でのオーケストラしか組めませんでしたが、今年度は本来の、全県下の高校管弦楽部、弦楽部からの編成によるオーケストラを組むことが出来ました。ステージが狭いので3年生中心のメンバーによる演奏となりましたが、おかげで、例年以上の充実したサウンドになったのではないかと感じています。

今年も昨年に引き続き、合唱部門と合同でヘンデル作曲のオラトリオ《メサイア》から“ハレル

ヤ・コーラス”、そして、佐藤真作曲のカンタータ《土の歌》より“大地讃頌”的2曲を演奏しました。今年も合同練習は当日の午前中のみと言う厳しい状況の中、宇部中央高等学校の福間先生の温かさにあふれる素晴らしい指揮の下で、開幕式典にふさわしく莊重で輝かしい音楽が演奏されました。その演奏は多くの聴衆に深い感銘を与えたと思います。



2 平成25年度第35回山口県高等学校総合文化祭音楽関係4部門発表会

期 日：6月14日(金)、15日(土)

場 所：渡辺翁記念会館

演奏種目：参加各校によるオーケストラ、弦楽合奏、マンドリン合奏の演奏

参加人数：6校／290名

総合開会式の翌日から2日間に渡って開催された音楽関係4部門発表会には器楽・管弦楽部門からオーケストラ3校、ギター、マンドリン合奏1校、弦楽合奏2校が参加いたしました。多数の吹奏楽部門の参加校の中に混じったその演奏は、一服の清涼剤ともいえるすがすがしい演奏でした。各校ともに弦楽器のつややかで柔らかい音色を備え得た立派な演奏で、大会をおおいに盛り上げました。

次年度の下関大会ではさらに練習に励み、研鑽

を積んだ成果を十分に発揮されることを期待しております。

3 第37回全国高等学校総合文化祭長崎大会

期　　日：8月3日(土)、4日(日)
場　　所：長崎ブリックホール
参 加 校：山口県立下関南高等学校
演奏曲目：ムソルグスキー作曲／交響詩
　　『はげ山の一夜』
　　エルガー作曲／行進曲
　　『威風堂々』第1番

4 平成25年度山口県高等学校文化連盟器楽・管弦楽部会

期　　日：12月2日(月)
場　　所：下関南高校会議室
議　　題：第33回器楽・管弦楽スプリングコンサート（防府大会）について
高文連表彰、役員改選など

5 第33回器楽・管弦楽スプリングコンサート

期　　日：平成26年3月29日(土)
場　　所：防府市アスピラート
主　　管：山口県立防府高等学校
演奏団体：部門所属6高校

今年度の全国総合文化祭長崎大会においても、本県代表の下関南高等学校が素晴らしい演奏を披露いたしました。本県の器楽・管弦楽部門のレベルは全国的に見ても、非常に高いものだと

思います。次年度以降もますます発展していくことと期待しています。

6 全国総文祭の記録

会　　場：長崎ブリックホール
山口県立下関南高等学校管弦楽部
部長 中村 涼子

私たち山口県立下関南高等学校管弦楽部は“Let's Enjoy Music!”をモットーに毎日の練習に励んでいます。今回は山口県の代表として『長崎しおかぜ総文』に参加させて頂くことになりました。

前日のリハーサルは本番の長崎ブリックホールで行いました。実は今回は書道部門でもこの全国総文に参加している部員がいて、こちらでの合流が危ぶまれていたのですが、無事に合流することができ、晴れて全員揃ってのリハーサルとなりました。

今回、私たちが演奏した曲目はムソルグスキー作曲の交響詩“はげ山の一夜”とエルガー作曲の行進曲“威風堂々”第1番です。“はげ山の一夜”は過去に本校の先輩たちが、コンクールにおいて全国一位をとった輝かしい歴史を持つ曲です。今回、私たちは「追いつけ、追い越せ」のチャレンジ精神で頑張りました。また、エルガーの“威風堂々”は1年生が初めてオーケストラに入り、定期演奏会で先輩たちと一緒に演奏した思い出深い曲です。

私たち3年生はこの演奏会で引退となります。





3年間、苦しいときや辛いときもありました。部長としての責任を果たせたかどうかは今でも疑問です。でも、いつでも、優しくしっかり教えてくださる先輩たちがいました。私を支えてくれる同級生が、こんな私たちを慕ってついてきてくれる下級生がいました。このメンバーで良かった、管弦楽部に入って良かったと本当に思います。

本番は全力、全開の演奏でした。一緒に演奏している仲間たち、聴いてくださっているお客様、そしていつも私たちを支えてくださる先生方、保護者の方々に感謝の気持ちを込めて演奏しました。最高の演奏だったと思います。

最後の学年でこの全国総文に参加できたことは本当に幸せだったと思います。学校の先生方、保護者の皆様、南高管弦楽部をここまで育て上げてくださった先輩の皆様、同級生の仲間たち、下級生のみんな、そしてなにより毎日、夜遅くまで私たちの練習におつきあいくださった飯田先生、岡本先生、入江先生に深く感謝いたします。本当にありがとうございました。

各部門の報告

合唱部門

理事長 田 中 陸
(野田学園高等学校教諭)

山口県高等学校文化連盟合唱部門では、今年度次のような事業を行いました。

1. 各部門の活動報告

- (1) 平成25年度第35回山口県高等学校総合文化祭開幕式典において慶祝演奏
 - ・6月13日(木)
 - ・山口県高等学校管弦楽団との合同演奏
 - ・曲 目／“オラトリオ《メサイア》より
「ハレルヤ・コーラス」”
“カンタータ《土の歌》より
「大地讃頌」”
 - ・山口県高等学校合唱団／9校 185名
 - ・宇部市渡辺翁記念会館
- (2) 平成25年度第35回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会
 - ・6月14日(金)、15日(土)
 - ・宇部市渡辺翁記念会館
 - ・合唱部門出演者／7校 172名
- (3) 第37回全国高等学校総合文化祭
 - ・8月4日(日)
 - ・アルサスSASEBO 大ホール(長崎県)
 - ・山口県代表／野田学園高等学校
- (4) 山口県高等学校合唱講習会
 - ・平成25年6月2日(日)
 - ・講 師／山 崎 勝(合唱指揮者)
 - ・内 容／総合開会式慶祝演奏に向けての演奏技術向上のための講習会
 - ・曲 目／“オラトリオ《メサイア》より
「ハレルヤ・コーラス」”
“カンタータ《土の歌》より
「大地讃頌」”
 - ・場 所／山口県教育会館ホール
 - ・参加者／10校 191名

(5) 平成25年度山口県高等学校文化連盟合唱部会及び研修会

- ・平成25年12月17日(火)
- ・野田学園高等学校会議室
- ・出席者／部会長以下5名
- ・議題／県総文、全総文、高文連表彰などについて

2. 山口県高等学校総合文化祭の記録

会場：宇部市渡辺翁記念会館

平成25年度第35回山口県高等学校総合文化祭総合開会式が、6月13日(木)「宇部市渡辺翁記念会館」にて盛大に開催されました。例年のように、器楽・管弦楽部門と合唱部門と合同で慶祝演奏に参加しました。オーケストラと共に、9校185名の大合唱は、ホール一杯に美しく響き渡り、生徒達の熱の入った伸び伸びとした演奏は、満員の聴衆の方々にも深い感銘を与えたことと思います。日頃小人数で部活動をしている生徒が多いため、他校との合同合唱は勿論のこと、オーケストラとの共演はとても貴重な体験になりました。

また、翌日からの音楽4部門の発表は、6月14日(金)、15日(土)の2日間、高校生の熱気あふれる演奏が続きました。合唱部門の出演は、7校172名であり、各校よく工夫されたプログラムで、美しく柔らかい歌声が響き渡り、個性あふれる演奏を披露しました。

例年、合唱部の廃部・休部による参加校の減少が問題でしたが、近年男子部員の増加や新しく参加される高校があるなど、明るい話題となっています。今後も生徒数の減少や指導者不足等の問題はありますが、この総合文化祭を契機に益々一人でも多くの合唱仲間が増えるよう、願っています。来年度の「下関市民会館」でも、

素晴らしい演奏を期待しています。

3. 全国高総文祭の記録

会場：アルカスSASEBO

野田学園高等学校合唱部 3年 岡崎 由夏

私たち野田学園高等学校合唱部は、第37回全国高等学校総合文化祭「2013長崎しおかぜ総文祭」に、合唱部門の山口県代表として参加させて頂きました。県代表としての不安と緊張もありましたが、私たちらしい演奏が出来るように練習を積み重ねてきました。

前日の交流会では、実行委員会の方々が考えてくださった、各県の歌と共に特色をPRする「うたマップ」を通して、楽しみながら全国の歌の繋がりを感じることが出来ました。また、作曲家である木下牧子先生による『鷦』の合唱講習会では、なかなか経験することの出来ない、大人数での全体合唱をすることが出来、会場が一体となった感動的な合唱を味わうことが出来ました。

当日私たちは、NHK全国学校音楽コンクールの課題曲である『ここにいる』と、映画「天使にラブソングを」の劇中歌として知られる『Hail Holy Queen』の2曲を演奏しました。2曲共、長い間練習してきた大切な曲であり、コンクールの本番のような緊張感をもつと同時に、温かな観客の方々のお陰で、心の底から楽しんで歌うことが

出来ました。

中でも一番強く心に残っていることは、普段はCDやDVDでしか聴くことの出来ないような、全国の高校生の合唱を聴くことが出来たことです。そのレベルの高さに圧倒されると同時に、自分達の合唱に対する視野の狭さを実感し、もっと沢山の音楽に触れたいと思うようになりました。

私たちはこの総合文化祭で、合唱という同じ志をもった全国の仲間と関わることが出来、改めて合唱の素晴らしさを実感することが出来ました。この舞台で演奏するために支えてくださった方々、様々な企画をしてくださった実行委員の皆様に、とても感謝しております。



各部門の報告

吹奏楽部門

理事長 志道博資
(宇部高等学校教諭)

平成25年度の吹奏楽部門の活動を報告いたします。

1 部門の活動報告

- (1) 県高等学校総合文化祭総合開会式式典においての慶祝演奏

*開催日 6月13日(木)

*会場 宇部市 渡辺翁記念会館

*参加演奏 宇部市・山陽小野田市内高等学校吹奏楽部合同選抜吹奏楽団60名

*演奏曲目「アーレルヤ・ラウダムス・テ」
A.リード 作曲

*指揮 松田廉遵(宇部鴻城高等学校)

- (2) 県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会・連合音楽会

*開催日 6月14日(金)、15日(土)

*会場 宇部市 渡辺翁記念会館

*参加演奏 54団体 1,690名

- (3) 全国高等学校総合文化祭

*開催日 8月1日(木)、2日(金)

*会場 長崎県佐世保市

アルカスSASEBO

*参加演奏 山口県立新南陽高等学校吹奏楽部(2日目プログラム6番)

*演奏曲目 「マゼランの未知なる大陸への挑戦」 樽屋雅徳 作曲

*指揮 石川 雅起

(新南陽高等学校吹奏楽部顧問教諭)

- (4) 吹奏楽部門総会・研修会

*開催日 12月4日(木)

*会場 山口県立宇部高等学校 会議室、音楽室

*参加人数 36名

*講師 石井和彦先生(プロ指揮者)



2 吹奏楽部門

平成25年度第35回山口県高等学校総合文化祭総合開会式が6月13日(木)に、宇部市の渡辺翁記念会館で開催されました。開会式典での慶祝演奏には、宇部市及び山陽小野田市にある高等学校の吹奏楽部員から60名を選抜した合同吹奏楽団が、本部門の代表として参加いたしました。本番では宇部鴻城高校の松田廉遵先生の指揮により、A.リード作曲の「アーレルヤ・ラウダムス・テ」を、敬虔な雰囲気を醸しながらもダイナミックに演奏いたしました。

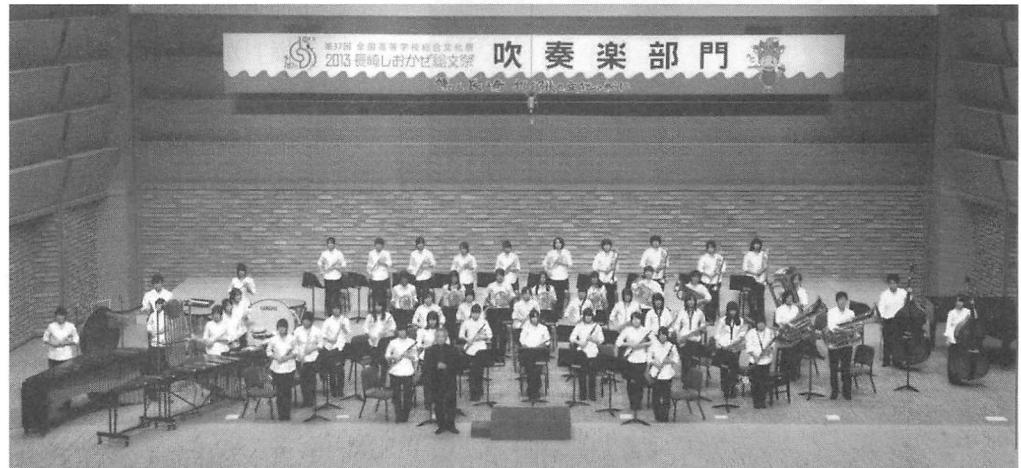
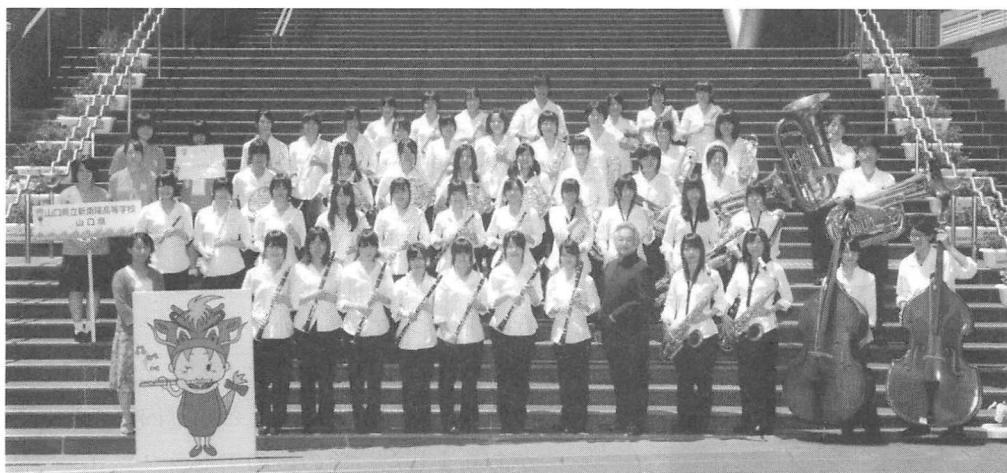
また、6月14日(金)と6月15日(土)には、同会場において音楽4部門発表会を開催いたしました。この2日間で54団体1,690名が、情熱を響きにこめて立派な演奏を披露しました。演奏をする生徒たちとそれを聴く生徒たちが作り出す、感動の波を大いに感じることができた2日間でした。最終日には防府西高校吹奏楽部の伴奏で、「翼をください」を全員で合唱いたしました。

3 全国高等学校総合文化祭の記録

山口県立新南陽高等学校 吹奏楽部

顧問 石川 雅紀

平成25年8月1日(木)、2日(金)の両日、長崎県佐世保市のアルカスSASEBOにおいて第37回全国高等学校総合文化祭「2013長崎しおかぜ総文祭」の吹奏楽部門が開催されました。新南陽高等学校吹奏楽部は第2日目には出場し、樽屋雅徳作曲「マゼランの未知なる大陸への挑戦」を演奏しました。日頃の練習の成果を存分に発揮することができ、思い出に残る演奏旅行となりました。また、第1日目の交流会での曲名当てクイズではみごと全国第2位に輝き、日本全国の高校生と楽しいひとときを過ごすことができました。



各部門の報告

美術・工芸部門

理事長 濱崎 洋
(柳井高等学校教諭)

平成25年度美術・工芸部門の活動について報告いたします。

1 山口県高等学校総合文化祭

10月1日から6日まで下関市立美術館で開催されました。美術・工芸部門には県内32校より115点の出品がありました。内訳は平面109点、立体6点です。レベルの高い大作が多く、平面では約8割の作品がF50やB1の出品規定最大のサイズでした。審査では24点が優秀賞に選ばれ、その中から6点が来年度の全国高等学校総合文化祭〈茨城大会〉の出品候補作品に選ばされました。講評会では日本を代表する洋画家のおひとりで、日本藝術院会員・二紀会常任理事の山本文彦先生から優秀作品1点1点について、その良さや制作方法などについて話があり、大変良い勉強になりました。生徒たちも互いの作品を鑑賞し合うことで視野を広げ今後の表現活動のよい原動力となりました。

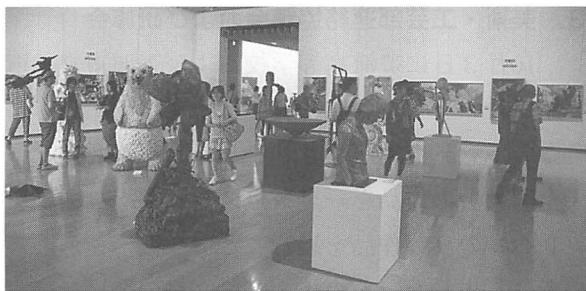


2 全国高等学校総合文化祭〈長崎大会〉美術・工芸部門

平成25年7月31日(木)～8月4日(日)5日間、全国の都道府県で選ばれた絵画、彫刻、デザイン、版画、工芸、映像等406点の優秀作品が、長崎県美術館に展示されました。その中にあって、本県から出品した平面作品6点はそれぞれに作者の思いや気持ちが込められた完成度の高い作品として全国にアピールしていました。全国のレベルの高い作品を鑑賞した本県6名の生徒も、視野が広がり、感情を豊かにし、今後の表現力を高める原動力になったことだと思います。

さて、諸行事ですが、部門開会式、アトラクション、講演・講評会は展示会場から市電を利用して10分程度離れた長崎ブリックホールで行われました。開会式では全国高文連美術・工芸会長から、「この展覧会には高校生であるみなさんでしかできないすばらしい作品が集まっている。表現の腕前や、じょうずとかへたを争うものではない。様々な個性や感性を認め、様々な意味を見つけてほしい。形や色、質感、量感からくる作者の息づかいをイメージしてほしい。心の驚き、感動が大切。」という内容のあいさつがありました。その後のアトラクションでは、「都道府県対抗!全国高等学校アートクイズ選手権」が行われ、会場が大いに盛り上がりました。

講演会・講評会ではアートディレクターの伊藤敬生（いとう・たかお）氏が、「アートディレクターってなんですか？」という演題で、広告とは？デザインとは？世の中を沸かせ、世の中に役立つコミュニケーションであるということを、ご自身の作品や映像作品を紹介しながらお話をありました。その後、伊藤さんが良いなと思った作品を20点ほどピックアップされその



良さなどについて講評されました。

交流会は長崎県美術館とその隣の長崎水辺の森公園で行われました。全国からの参加生徒と、長崎県の生徒が6名程度の班になり、各班は「全国展鑑賞会」の鑑賞と「長崎凧（ハタ）」づくりをおこないました。「全国展鑑賞会」の鑑賞会では、班ごとに自分の作品の前で、作品についての思いや制作過程などについて話をして、鑑賞者はコメントを書いて作者に渡す方法でお互いの作品を鑑賞し合いました。「長崎凧（ハタ）」づくりでは、それぞれの班で、「海」「風」「命」をテーマに凧（ハタ）をデザインし製作して、最後にできあがった凧（ハタ）を上げて楽しいひとときを過ごしていました。また、記念に自分の飾り凧（ハタ）を制作して持ち帰りました。

以下、参加した生徒のみなさんより感想をいただいています。

岩国工業高等学校 3年 宮本 駿

長崎大会に参加し、同年代の自分とは異なる多くの芸術作品に触ることができ、とても良い経験になりました。講評会ではデザインの様々な表現や面白さを知り、挑戦したいという意欲がわきました。また、他県の高校生と一つの作品を制作し見事完成させることもできました。この貴重な体験を美術分野だけでなく多くの事に生かしたいと思います。

柳井高等学校 2年 濱崎 奏絵

普段は見ることのできない全国の高校生の皆さんのはばらしい絵を見る事ができ、本当に貴重な体験をさせていただきました。全国大会の絵は私には到底真似することのできないものばかりで、

全国大会のレベルの高さを思い知らされました。今後私もこの経験を生かして作品制作に取り組んでいきたいです。

豊浦高等学校 3年 宮崎 萌子

大会に行くまでは不安でいっぱいでしたが、行ってみると思っていたより楽しかったので、選ばれてよかったです。長崎の文化に触れ、全国の同じ美術部の人の作品を見て、話をすることができました。交流会では、作品について「ぬるぬるしているけれど気持ち悪くない」と言われたことが印象的でした。

下関南高等学校 2年 島田 春菜

高校総文祭長崎大会では、全国から選ばれた様々な作品に触れ、さらに作者から直接作品制作の思いなどを聞く機会を得ました。そのおかげで、一つ一つの作品の深い部分まで鑑賞することができました。こうした交流を通じて、私自身の視野も広がり、成長することができ、とても良い経験となりました。

下関中等教育学校 3年 染岡 菜月

この度、第37回全国高等学校総合文化祭に参加して、私はとても多くの刺激を受けました。全国の作品を初めて実際に鑑賞し、肌で素晴らしさを感じました。自分に足りない表現の幅を知ることが出来ました。私と同じように描く、全国の仲間と交流する機会は滅多にないので、互いに触れ合えたのも良い経験になりました。実りのある2日間でした。

サビエル高等学校 2年 沖村 明日香

今回の全国大会では、たくさんの作品のよさを感じることができました。特に興味を持ったのが

立体作品でした。自分は普段から平面作品を主に制作していますが、立体作品の持つ強さにとても惹かれました。様々な素材が使われており、驚くことばかりでした。実際の会場で、本物の作品を鑑賞することができ、本当によい経験となりました。

3. 美術・工芸部連絡協議会および研修会

10月3日に豊浦高等学校および下関市立美術館で行いました。協議会では総文祭のあり方について意見交換がなされました。研修会では、全国大会の作品を一点一点スライドで、多様なレベルの高い作品を観ることで今後の指導の参考にしました。その後、県総文祭の会場にて実際に作品を観ながら、作品の制作方法などについて情報交換を行いました。

受賞者一覧

優秀賞（全国高等学校総合文化祭（茨城総文祭）出品候補作品）

学校名	氏名	学年	題名	大きさ
柳井高校	竹谷 美希	2	日常	F50 縦
下松高校	近藤 淑夏・坂口 美波	2	海燈籠（うみどうろう）	35cm×35cm×198cm
宇部高校	西田 由香	2	ねころぶ	F50 横
下関南高校	阿武未奈子	2	素直になれない	F50 横
下関中等教育学校	小西 菜々	2	不安真鶴症	F50 縦
サビエル高校	沖村明日香	2	誕生	F50 横

優秀賞

学校名	氏名	学年	題名	大きさ
岩国高校	宮本 恵	2	シマッコリー	100cm×100cm×160cm
岩国高校	湯場伊吹季	1	丘上の要塞都市	F50 横
岩国総合高校	黒川 茜	3	生物の源	F50 縦
岩国商業高校	鞆岡 琴美	2	部屋、片付けなくっちゃ	縦93cm×横61cm
岩国工業高校	宮本 駿	3	奏者と民衆	F50 横
山口高校	大崎 多恵	1	The Moon Man	B1 横
宇部高校	藤井 智史	2	雲のさかいめ	F50 縦
豊浦高校	宮崎 萌子	3	ハリボテ残像群への鎮魂歌	F50 横
豊浦高校	福間 彩未	3	blue	F50 横
下関西高校	平川 友梨	2	追憶	B1 縦
下関南高校	島田 春菜	2	欲求	F50 縦
下関中等教育学校	吉坂 夏保	1	夏への15時59分	F50 横
下関中等教育学校	石山 透	2	ダッピ	80cm×70cm×100cm
下関商業高校	中村あかり	2	進めない時間	F50 縦
下関商業高校	室 祐希	2	思い込んだ心	F50 縦
サビエル高校	山室依里奈	2	女子会	F50 縦
サビエル高校	大上ひとみ	2	大切な妹	F50 横
サビエル高校	三村 佳澄	2	走馬灯	B1 横

各部門の報告

書道部門

理事長 河合和子
(下関西高等学校教諭)

平成25年度山口県高文連書道部門の主な活動について報告いたします。

1 第35回山口県高等学校総合文化祭

11月9日(土)・10日(日)

山口市市民会館小ホール

今年は県内19校より73点が出品され、厳正な審査により来年の全総文茨城大会への出品候補作品4点を含む優秀賞10点が選ばれました。本年度より展示3部門がそれぞれ別々に開催されることになり、書道部門は1校6点までに出品枠を増やしたこと、小ホール全面を埋め尽くす多くの作品が寄せられました。また、同会場の展示ホールでは教員書作展を開催し一般の方を含めた多くの観覧者を迎えることができました。2日目14時から開催された書道パフォーマンスの発表では、山口・下関南・萩光塩学院の3校が、それぞれに趣向を凝らした迫力あるパフォーマンスを披露し、市民会館中庭は200名におよぶ参観者でぎわいました。その後の講評会では、審査員の先生を中心に講評をいただきました。緊張の中にも和やかに進められ、参加生徒は明日の部活動への意欲を感じてくれたものと思います。

受賞者一覧

優秀賞（第38回全国高等学校総合文化祭

（茨城大会）出品候補作品

学校名	学年	氏名
山 口 高 校	2	和田 茉莉
長 府 高 校	2	尾崎奈緒子
下 関 商 業 高 校	2	西嶋 真実
野 田 学 園 高 校	1	志 田 結

優秀賞

学校名	学年	氏名
岩 国 高 校	2	木 村 花 鈴
岩 国 商 業 高 校	2	湯 池 薫
徳 山 高 校	2	河 合 信 代
防 府 西 高 校	1	藤 井 麻 由
山 口 高 校	2	金 谷 梨 加
下 関 西 高 校	2	藤 本 知 佳

2 第15回高文連書道部会生徒研修会

9月21日(土)

山口県セミナーパーク

今年度の生徒研修会を実施しました。例年1泊2日で行っていた研修会ですが、今年度は諸事情により1日のみの開催となり、内容も若干変更して実施しました。日程は短くなりましたが、38名の生徒参加のもと充実した研修となりました。

研修内容としては、午前中はレクリエーションを経て班別での一字書創作を行い、一字書の鑑賞会のうち県総文の作品講評会を実施しました。午後は班ごとに四季をテーマにした俳句の書を創作し、この作品は屏風に仕立てて11月に山口市で開催された県総文書道展示部門で展示されました。

1日という短い時間ではありましたが、生徒たちは積極的に交流を深め、有意義な時間を持てたのではないかと思います。来年度以降もこのような機会を設け、生徒の交流や研修に繋げていきたいと考えています。



3 第37回全国高等学校総合文化祭（長崎大会）

本年度の全国高等学校総合文化祭は、長崎県で開催されました。「しおかぜ総文祭」と銘打ち、テーマを「集え長崎 帆を張れ文化の船に」として、7月31日～8月4日、書道は佐世保市の佐世保体育文化館をメイン会場として開催されました。

書道部門には、全国から選抜された313点の作品が出品されました。漢字・仮名はもとより、漢字仮名交じり、篆刻や刻字などのジャンル、また表現方法も全臨などの多字数や木片に書いて木簡を忠実に再現した物など、本当に多種多様な作品群に圧倒されるばかりでした。山口県からは、県内の総合文化祭で選出された桜ヶ丘高校、山口高校、下関南高校、下関中等教育学校の4校が、県代表として出品しました。偶然にも今年は4点とも楷書で、3点は古典の時代も近かったのですが、それだけに返って書き手の個性が際立ち、真面目な取り組みの姿勢が現れた力強い作品でした。この全国大会に向けて作品作りにかけた皆さん的情熱に敬意を表します。

開会式に引き続いだ行われた交流会では、長崎大会の基本方針である「平和」を書で表現した『メッセージ灯籠』を制作しました。18×23センチメートルの和紙に、各自が事前にが考えてきた平和へのメッセージを揮毫し、大きな灯籠に貼り付けます。班ごとの制作テーブルが設けられ、テーブルにはそれぞれに長崎ゆかりのネーミングがされていて、仲良く活動する様子はとても微笑ましいものでした。交流会の最後に、会場の灯りを落とし灯籠に点灯すると、メッセージが美しく浮き上がり、莊厳で敬虔な気持ちにさせられました。交流の縁も深まったように思います。

スポーツと違い、なかなか余所と接触する機会の少ない書の世界ですが、全国から集まった同じ高校生の作品と人物に触れ、視野を広げる素晴らしい大会だったと思います。参加した皆さんのが、この経験をぜひこの先の人生に生かしてくれたらと祈っています。

しおかぜ総文祭に参加して

臨「價司伯碑」 下関南高等学校 馬場 彩
長崎県の全総文祭に参加して、書道の世界は本

当に広いなと感じました。木に書を彫っていたり、金色の墨で書かれていたりと、初めて見る物ばかりでとても素晴らしかったです。何千という文字が書いてあった書には本当に驚き、自分には気が遠くなりそうに感じました。

たくさんの方が努力して何枚も練習したことだと思いますが、自分もその中の一人です。こんな大きな作品を書くのは初めてで本当にきつかったです。すべてに満足、という作品はできませんでしたが、たくさん練習し自分の努力や気持ちが伝わる作品になったのではないかと思います。今回の経験を生かし、様々な書に触れいろいろと挑戦していきたいと思います。ありがとうございました。

第37回全国高等学校総合文化祭に参加して

臨「高貞碑」 桜ヶ丘高等学校 山本 伸

私は「第37回全国高等学校総合文化祭2013長崎しおかぜ総文祭」に参加し、全国の高校生の作品を見て、書道に対しての意欲が強まりました。大会では、楷書はもちろんですが、行書・草書・仮名の臨書など様々な書体の作品が多く出品されていました。そのような作品を見て、今まで私が書いたことのない書体が多く、難しそうなものもありましたが、視野を広げて挑戦してみようと思うようになりました。そうすれば、これから私の書道スタイルや目標など細かい事が決まってくると思いました。

私は、来年4月から書道の勉強をするために大学に入学します。環境も変わり慣れないこともたくさんあって、いろんな壁にぶつかると思いますが、これまでの経験を活かしながら幼い頃から心に決めていた「書道の先生」になるという夢を叶えるために、全力で頑張りたいと思います。



各部門の報告

写真部門

理事長 尾崎勝利
(新南陽高等学校教諭)

平成25年度の山口県高文連写真部門の活動状況について報告いたします。

1 平成25年度第37回全国高等学校総合文化祭(長崎大会)写真部門

全国高校総文写真部門は全国展・企画展が8月8日～12日の期間に長崎市の長崎歴史文化博物館で行われました(全国展316点・日韓交流写真展作品12点・長崎県企画展作品32点)。各都道府県の代表作品による全国展は、優れた作品が多く、写真の取り組みに対する意識の高さを感じました。

なお全国展における山口県からの出品作品の入賞は残念ながらございませんでした。次回以降に期待したいと思います。



2 第35回山口県高等学校総合文化祭

11月8日(金)～10日(日)周南市ふれあいセンターにて県総文展示部門の作品展示が行われました。写真部門は平成22年度からデジタル作品も選考の対象として以来初めて、すべての作品がデジタル作品となりました。今年度は過去最多の149点の作品が集まりました。これまで63点(H21)、90点(H22)、123点(H23)、127点(H24)と出展数が増えていますが、他県の取り組みと比較して、まだまだ活発であるとは言えない状況であり、写真部数の減少によって参加校数に増加は見られない状況です。また、昨年に引き続き、審査員としてプロカメラマンである(社)日本写真家協会会員のタカオカ邦彦先生をお迎えし、プロによる評価・講評を続けています。審査の結果15点が優秀賞に選ばれ、そのうち5点が来年の全国高校総文長崎大会への出品候補作品となりました。最終日の講評会ではタカオカ先生からのいねいな講評があり、参加された生徒・顧問の皆さんも学ぶことが多かったのではないかと思います。毎年行っている取り組みとして、県高校写真部員の作品として、「光と影」をテーマ(昨年度テーマは「身近な人」)とした作品撮影・作品展示を行いました。準備・運営に携わってくださった役員の先生方、また補助員の生徒の皆さんに感謝いたします。



3 撮影研修会・提出作品の講評会

展示部門の会期最終日に周南市ふれあいセンターに於いて、タカオカ邦彦先生による撮影研修会があり、53名の参加がありました。今年度は工業高校の生徒が多く受験する危険物取扱者試験の日程と重ならないように日程を調整したため昨年よりも20名近く参加者が増加しました。参加生徒は「光と影」（企画展示作品と同テーマ）をテーマとした作品を持参し、その中で優れた作品に対する講評を聞き、また、ふれあい

センターの近くで「気配（けはい）」をテーマに、撮影した後、提出された一人一人の作品をスクリーンに投影し、作品に対する本人の説明の後、講師からの講評・アドバイスを受けました。熱心に撮影に取り組んだ結果の作品は山口県の高校生カメラマンのレベルアップを期待させるものでした。また、2月には生徒・顧問から提出された作品に対して、タカオカ先生による作品講評がなされる、という形での研修会を行います。

第35回 山口県高等学校総合文化祭 写真部門受賞者一覧

優秀賞（全国高等学校総合文化祭出品候補）

学校名	氏名	学年	題名
下松高等学校	近藤冴夏	2	天をめざして
新南陽高等学校	岸田朋花	2	闇への入り口
	重永菜摘	1	母の結婚
宇部高等学校	松岡華	2	少女
宇部工業高等学校	下川航平	2	世界の終わりに

優秀賞

学校名	氏名	学年	題名
岩国工業高等学校	新庄智史	3	モザイクアート
光丘高等学校	土田穂月	3	私の時間
下松高等学校	知本はるか	2	風の弾痕
	林愛美	2	秋お届けします
	高田晴奈	1	おいてければ
	高松満里奈	1	暮れない
	西本未優	1	ふたりのせかい
新南陽高等学校	齋藤美和	2	狙う
	田中伶奈	1	雨宿り
南陽工業高等学校	三牧幸成	2	勝て勝て南工!!

各部門の報告

日本音楽部門

理事長 吉原達也
(下関短大付属高等学校教諭)

1. 平成25年度日本音楽部門の活動報告

本年度の日本音楽部門の活動は6月13日(木)の総合開会式での宇部鴻城高等学校の迫力のある和太鼓の慶祝演奏で幕を開け、6月15日(土)にシンフォニア岩国にて山口県高等学校総合文化祭日本音楽部門発表大会が行われました。日本音楽部門の発表は毎年多彩な内容で、普段はJ-POPなどを聴いている生徒たちが、こんなにも自然に、熱心に日本の伝統音楽、芸能に取り組む姿を見ることが出来、嬉しく思います。合同演奏では名曲の八橋検校作曲「六段の調べ」に取り組み、古典の素晴らしいを共有することも出来ました。この曲は来年度も継続して練習しますので、さらに弾き込み、より深みのある合同演奏になるでしょう。

今年度の全国高等学校総合文化祭は郷土芸能部門への参加でした。7月31日(水)~8月2日(金)に長崎県島原市の島原復興アリーナで行われ、山口南総合支援学校が創作和太鼓で参加し、一杯の演奏を披露されました。なお、日本音楽部門は8月2日(金)3日(土)に佐世保市民会館で行われました。最近は現代曲の演奏が非常に多く、中には洋楽のような作品もあり、入賞校は全て現代曲という中で、逆に古典の良さが際立つという印象を受けました。

部会では現在の全国高総文祭への推薦方法について協議されました。全国高総文祭への参加校がそろそろ一巡すること、他県ではほとんどがコンクール形式により決定することを踏まえ、今後の方向性を再検討する時期に来ているかもしれません。より良い日本音楽部門の活動になるよう協議を重ねていきたいと思います。

2. 平成25年度山口県高等学校総合文化祭を終えて

主管校 谷口たかし (高水高等学校教諭)

第35回山口県高等学校総合文化祭日本音楽部門発表大会が、岩国市のシンフォニア岩国で催されました。日本音楽部会長の下関短期大学付属高等学校長の伊藤清之先生が「この鬱陶しい梅雨の雨も、この雨がなかったら日本列島にこれほど豊かな緑は生まれなかつたであろうし、日本文化も根付かなかつたかもしれない」と言わわれています。確かに、この日本文化の中心である日本音楽も、この梅雨の雨とも深いつながりがあるのかもしれません。」とプログラムにご挨拶文を寄せてくださいましたが、今年度も雨の中の開催となりました。

山口県は全国でも珍しく、箏曲、太鼓、郷土芸能、仕舞、長唄三味線と、多彩なジャンルの部活動が所属しており、18校155名の出演者が変化に富んだ魅力ある演奏会を作り上げてくれました。よく「国際理解」という言葉を耳にしますが、それは決してよその国の文化を無批判に受け入れることではないはずです。日本人としての自分の色をしっかりと持った上で、他の文化に触れたとき、初めて色の違いを感じることができ、他の、そして日本の素晴らしいに気付けるのだと思います。世界に目を向けて



いかなくてはならない今こそ、日本音楽部門各部の活動は大きな意味を持っていると思います。今回の合同演奏曲は『六段の調べ』でしたが、高校生が古典の名曲に挑戦してくれたことを嬉しく思いました。

来年度は野田学園高等学校の主管により、山口市で開催されます。各校のステージを楽しみにしています。

3. 第37回全国高等学校総合文化祭（長崎大会）

郷土芸能部門に参加して

岩崎 慎朗（山口南総合支援学校教諭）

7月31日(木)、長崎県島原市で開催された全国高等学校総合文化祭郷土芸能部門に山口県代表として、本校太鼓部が参加しました。14時34分からの演奏予定でしたが、昼食後はあわただしく、他校が素晴らしい発表を披露するステージの周りを少しづつ移動するという状態でした。

7月29日の昼に島原市に到着、その後もステージやホテルで音合わせを繰り返して、4月当初と比べて技量は随分上達したと思っていました。しかし、他校の圧倒的な技術とパワーを、演奏前に長時間聞くことになり、そのためか本番では少し萎縮してしまったように顧問としては感じました。けれども、本校の持ち味である一生懸命さ、ひたむきさは十分に發揮できたと思います。生徒たちも、そして顧問も全国のレベルの高さをしっかり受け止めることができ、また全国高等学校総合文化祭の独特的な雰囲気を十分に楽しむことができました。

このような機会を与えてくださった山口県高等学校文化連盟の諸先生方に深く感謝を申し上げ、ご報告とさせていただきます。



各部門の報告

囲碁部門

理事長 栗林浩治
(宇部高等学校教諭)

<平成25年度の主な活動報告>

1 囲碁研修大会

期日：7月20日(土)

場所：宇部高等学校

指導：日本棋院プロ棋士 山本賢太郎五段

2 全国高等学校総合文化祭囲碁部門大会

期日：8月3日(土)・4日(日)

場所：長崎県「時津町コスモス会館」

出場者と成績：

個人戦

男子 清水優一(大津緑洋) 4勝2敗11位

女子 伊藤唯(徳山商工) 1勝5敗41位

団体戦

西村祐一郎(防府)・右田貴大(山口農業)・三美晶子(下関西) 3勝3敗30位

3 山口県高等学校総合文化祭囲碁部門大会

結果

男子団体 優勝 山口県立山口高等学校

女子団体 優勝 山口県立防府商工高校

男子個人 優勝 大川夢月(下関中等)

2位 矢田優誠(徳山)

3位 西村祐一郎(防府)

女子個人 優勝 三美晶子(下関西)

2位 青木菜那(防府商工)



(県総文 対局風景)

4 第17回中国高等学校囲碁選手権大会

期日：12月21日(土)、22日(日)

場所：岡山県岡山市「山陽新聞本社ビル」

出場者と成績：

個人戦

男子 矢田優誠(徳山) 4勝1敗3位

清水優一(大津緑洋) 4勝1敗5位

大川夢月(下関中等) 3勝2敗7位

西村祐一郎(防府) 3勝2敗8位

金子孟司(山口) 3勝2敗14位

山本啓太(徳山商工) 2勝3敗21位

女子 三美晶子(下関西) 3勝2敗4位

藤岡望美(下関西) 3勝2敗5位

石川加奈子(防府商工) 1勝4敗13位

団体戦

男子 山口高等学校 3勝2敗3位

女子 防府商工高校 2勝2敗3位



(中国大会 対局風景)

5 第35回山口県高総文祭の記録

第35回山口県高等学校総合文化祭囲碁部門第25回大会は、10月27日(日)に宇部高校で開催しました。参加校は10校で、39名の生徒が参加し、互いの棋力を競い合うとともに、囲碁を楽しみました。この大会は、全国大会代表と中国大会代表を決める代表決定戦と段級位認定戦とに分

かれて行います。代表決定戦には男子16名、女子8名、段級位認定戦には15名の生徒が参加しました。段級位認定戦には3年生の参加も認めしており、高校最後の大会で目指す段級位を得ようと例年何人かの3年生が参加しています。生徒にとっては自分の段級位を認定してもらうことが大きな励みになっています。代表決定戦も段級位認定戦も、スイス方式で4回戦の対局を行います。大会結果は上記のとおり。

上位大会への出場権

代表決定戦の上位男子3名と女子2名は、平成26年7月30日、31日に茨城県水戸市で開催される第38回全国高等学校総合文化祭に出場することになります。全国大会では、男女混成3名で山口県チームを組む団体戦と男女各1名の個人戦に出場します。

また、今年は岡山県で開催される第17回中国高等学校囲碁選手権大会には、男子団体戦に山口高校、女子団体戦に防府商工高校、男子個人戦には、団体戦出場者を除く県内予選の男子上位6位までの選手、女子個人戦には、上位3名が出場しました。

6 第37回全国高総文祭の記録

第37回全国高等学校総合文化祭囲碁部門は、8月3日(土)・4日(日)に長崎県時津町で開催されました。平和都市長崎市からバスで30~40分くらいの時津町コスモス会館に、46都道府県から230名の高校生棋士が集まり、2日間6局の対戦で、互いの棋力を競い合いました。大会は、団体戦(男女混成で3名の各県代表チーム)と男女個人戦(各1名の各県代表)で行われます。山口県チームは、前年10月の県総文祭の上位入賞者が代表となって出場しました。対戦は、団体戦・個人戦ともに、勝者同士敗者同士を対戦させてゆき、2日間で6局の各対戦相手の勝敗も加味して順位を決めるスイス方式で行われます。参加した代表生徒はそれぞれに頑張り、また全国の高校生との交流を楽しんだようです。成績は、団体戦で過去5年前と4年前には全国2連覇という偉業を成し遂げていますが、この2~3年やや振るわなかつたところ、今年は、

個人戦の清水君が11位に入るなど今後に期待が持てる戦いをしてくれました。近年は各県とも、囲碁の指導者が減少し、それに伴って囲碁部も減少しており、囲碁を楽しみたい生徒の環境は狭くなるばかりです。アジア大会の競技にも加えられた囲碁という優れた知的競技が、教育現場から姿が消えないように環境を整えたいところです。



(全総文 交流会のようす)

各部門の報告

演劇部門

理事長 新竹伸芳
(宇部高等学校教諭)

1 演劇部門活動報告

- (1) 全国大会（長崎市公会堂）8月2～4日
演劇の全国大会は、原則として前年度のブロック大会最優秀校しか出場できません。残念ながら今年度も山口県から出場することはできませんでしたが、全国大会のレベルの高い舞台を観て大きな刺激を受けました。
- (2) 地区大会（県内4地区）
① 8月7日(木) 山防地区
7校上演 山口南総合センター
② 8月8日(木)～9日(金) 下関地区
8校上演 下関市生涯学習プラザ
③ 8月10日(土) 周防地区
5校上演 周南市市民館
④ 8月18日(日) 宇部地区
5校上演 山陽小野田市文化会館
地区大会は、演劇部にとって、地区大会→県大会→中国大会→全国大会と進んでゆくための、その入口となる、非常に重要な大会です。今年度も、昨年度に続いて、県下25校の演劇部すべてが地区大会に出場することができました。県内4地区の各会場で、8月の猛暑の中、その暑さを上回る熱演を披露してくれ、各地区の最優秀校計9校が県大会への出場権を得ました。
- (3) 演劇講習会（下関南高校）

暴力的な猛暑もようやく多少やわらいだ9月29日(日)、下関南高校の体育館で今年度の演劇講習会が行われました。講師は、パフォーマーで演出家でもある「フィジカルサーカスシアター チィキィパークゥ」主宰の智春（ちはる）さんで、生徒139名、顧問26名の計165名という、例年になく多くの参加者が集まりました。オープニングの智春さんのパフォーマンスでいきなり度肝を抜かれた参加

者は、「感じる」をテーマにしたさまざまなメニューに楽しく積極的に取り組んでいました。ともすると、独りよがりの演技になりがちであることを反省させられ、相手の行動・態度から気持ちを感じとり、それに応じて動くことの大切さを学ぶことができ、大変有意義な講習会となりました。

- (4) 第35回山口県高等学校総合文化祭演劇部門
(山陽小野田市文化会館)

10月26～27日

9校が上演し、宇部中央・西京の2校が最優秀賞を受賞し、中国大会出場権を得ました。
創作脚本賞は田部高校の山本理恵さんが受賞しました。

- (5) 第51回中国地区高等学校演劇発表会
(米子コンベンションセンター)

11月23～24日

中国各県代表の計11校が上演し、山口県からは、宇部中央、西京の2校が出場しました。残念ながら全国大会には届きませんでしたが、両校とも迫真的演技と工夫を凝らした舞台作りで観客の心をつかみ、大きな拍手を受けていました。

- (6) 各地区的活動

- ① 2月1日(土) 周防地区演劇新人大会
(アクティブやない)
② 2月9日(日) 宇部地区高等学校演劇講習会
(サビエル高校)
③ 3月23日(日) 下関地区第21回合同公演
(下関市民会館)

2 第35回山口県高等学校総合文化祭演劇部門の記録

今年度の県総文演劇部門大会は、10月26日(土)・27日(日)に、山陽小野田市文化会館で行われ

ました。大会運営というのは、ただでさえ大変なものですが、今回は季節外れの台風27号が更に余計な心配をさせてくれました。台風26号が伊豆大島に甚大な被害をもたらした直後で、平成16年の徳島の全国総文祭のこと思い出され、最悪の状況が頭をよぎりましたが、幸いにも台風の進路から外れ、さわやかな秋晴れのもと、無事に大会を行うことができました。

上演はどれも非常に充実した舞台で、どこが中国大会に出ても恥ずかしくないものでしたが、その中から宇部中央と西京の2校が中国大会の出場権を得ました。また、9校中創作脚本が5校と、半数を超えたのも特筆すべきことでした。これまであまり創作が多くなかった山口県です

が、近年、徐々に増えつつあるように思います。また4校が生徒創作で、高校生自身の言葉で書かれた脚本には、大人が書いた本ではない、高校生の生の想いが込められていて、リアリティが感じられました。

生徒講評委員会の活動も、軌道に乗ってきました。県内4地区の代表、計8名の生徒講評委員は、タイトなスケジュールの中で活発な意見交換をし、的確にまとめて発表してくれました。舞台を観て、その良さを見つけ、意見を交換することは、演劇活動のレベルアップにつながります。この生徒講評活動も今後ますます活発にしていきたいと考えています。

◎宇部中央高等学校	16歳、僕隠れています	古谷 泰三／作、宇部中央高校演劇部潤色
田部高等学校	◇笑顔のおまじない	○山本 理恵／作
山口県鴻城高等学校	◇ハロー、モモ！	渚 太陽／作
華陵高等学校	G O N G E R A	安藤 聖／作、無頬花／潤色
下関南高等学校	◇タチカエル	傘田 あさひ／作
◎西京高等学校	◇キリンは舞台の夢を見る	西京高校演劇部／作
岩国高等学校	◇尽生	牧野 加奈／作
下関西高等学校	悪魔のいるクリスマス	北村 想／作
宇部高等学校	それはいえない	中原 久典／作、宇部高校演劇部／潤色

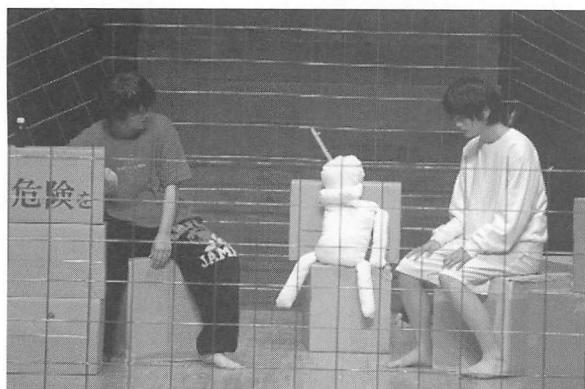
◎は最優秀校（中国大会出場） ◇は創作 ○は創作脚本賞

講師・審査員

篠崎 光正（演出家 日本演出者協会理事 電劇主宰 S H I N O Z A K I—S T U D I O 代表）

柳沢 悟（演出家・俳優 劇団演劇街代表）

國武 里早（山口県立美祢青嶺高等学校教諭）



各部門の報告

放送部門

理事長 光田 広美
(光丘高等学校教諭)

1 第37回全国高等学校総合文化祭（長崎大会）

8月3(土)、4日(日)に諫早文化会館にて開催されました。参加者、参加校は以下のとおりです。

【アナウンス部門】

徳山高等学校 大嶋沙也加

山口高等学校 村田 納充

徳山高等学校 樽本 桃果

【朗読部門】

熊毛南高等学校 山本 里美

『流星ワゴン』重松 清

山口高等学校 宮田 ゆかり

『おばあちゃんのギンナン』重松 清

徳山高等学校 天野 翔太

『カッコウの卵』重松 清

【オーディオピクチャー部門】

岩国高等学校 『広島の英雄、山口にあり』

【ビデオメッセージ部門】

岩国高等学校 『いわくにin Box』

熊毛南高等学校

『好きだから～うどんが人がこの町が～』

2 第35回山口県高等学校総合文化祭

第20回放送部大会

11月9日(土)ニューメディアプラザ山口で行われました。（詳細は「第35回山口県高総文祭の記録放送部門」をご覧下さい。）

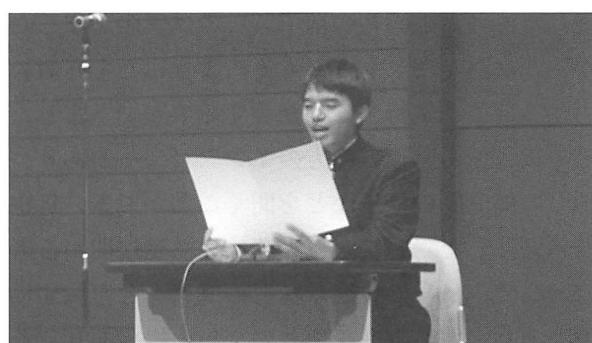
3 アナウンス・朗読講習会

第1回 6月15日(土)、第2回 9月23日(月)、第3回 3月22日(土)に徳山高等学校にてフリーアナウンサーの安田知博さんを講師にお迎えしてアナウンス・朗読の技術向上の研修会を行いました。

4 第35回山口県高総文祭（放送部門）

11月9日(土)山口市のニューメディアプラザ山口で第35回山口県高等学校総合文化祭第20回放送部大会が開催されました。昨年度同様12校が参加。朗読部門26名（昨年度24名）、アナウンス部門22名（昨年度26名）、オーディオピクチャー部門1校（昨年度3校）、ビデオメッセージ部門4校（昨年度5校）が出場しました。

朗読・アナウンス部門の審査は、山口放送の小野口奈々アナウンサー、テレビ山口の横溝洋一郎アナウンサー、山口朝日放送の柘植忠司アナウンサーに、オーディオピクチャー・ビデオメッセージ部門の審査は山口放送の田村康夫ディレクターにしていただきました。全体講評の中で、アナウンス・朗読については基礎練習や腹式呼吸による発声の大切さを教えていただき、「伝えたい」という思いをマイクに乗せて、高校生らしく元気いっぱいに話してほしいという助言を受けました。番組部門については、編集等の質の向上を讃めてください、更なるレベルアップのためには、制作意図を明確にさせる必要があることを教えていただきました。審査委員の先生方は、審査のみならず、発表者一人一人に対して丁寧なコメントを書いていただきたり、大会閉会後も遅くまで希望者に個別指導をしていただいたりと、大変有意義な一日でした。



〈結果〉

【朗読部門】

最優秀賞	徳山高等学校	松原 彩香
	『さくら地蔵』	重松 清
優秀賞	山口高等学校	高原 潮
	『卒業ホームラン』	重松 清
	熊毛南高等学校	城 歩夢
	『日曜日の夕刊』	重松 清

【アナウンス部門】

最優秀賞	華陵高等学校	吉岡 采
優秀賞	下松高等学校	尾崎友里花
	徳山高等学校	小方 祐輝

【オーディオ・ピクチャー部門】

最優秀賞	熊毛南高等学校	『未来へのオブジェ』
------	---------	------------

【ビデオメッセージ部門】

最優秀賞	岩国高等学校	『大島からALOHA』
優秀賞	山口高等学校	『街に芸術』

各部門の最優秀賞、優秀賞を受賞した個人・団体は、7月30日(木)、31日(金)に茨城県日立市の日立シビックセンターにて行われる第38回全国高等学校総合文化祭に出場することになります。

長崎しおかぜ総文祭を終えて

熊毛南高等学校 3年 山本 里美

今回、私は朗読部門で出場しました。放送部は総文祭の前週にNHK杯全国高校放送コンテストという全国大会もあります。私と同様、両方の大会に出場している他校の生徒もたくさんいて、友情を深めることができ、とても楽しい大会でした。

私は、なんとNコンの最優秀賞と優秀賞の受賞者がいるブロックでの発表でした。そのお陰で、非常に有意義な時間を過ごすことができました。たくさんの観客の前で読むのは緊張しましたが、総文祭を楽しもうと考えるようにしたら肩の力が抜けて、気持ちよく発表する事ができました。その後、他の県代表の方のインタビューがあり、他県の部活動の様子などを聞くことができ、貴重な体験でした。総文祭は私達放送活動に関わる者にとって、自身の技術や練習の成果などを試す場所であり、他県の高校生との交流の場であり、そ

してそれらを通して、自身の成長が望める場です。応援して下さった皆様並びに関係者各位の皆様、本当にありがとうございました。

2013長崎しおかぜ総文祭に参加して

岩国高等学校 2年 松井 光希

8月3日、4日に長崎しおかぜ総文祭に参加しました。まず駅で降りた時から、駅前に大会案内のブースが設置されていて、地元の高校生が案内をしていたのにびっくりでした。いたるところに山口国体の時のように大会の幟がたくさん立てられていて、県全体で大会を盛り上げようという熱気がとてもよく伝わってきました。宿泊は諫早市内に宿がなくて、長崎市内のホテルだったのですが、路面電車の中には長崎総文のラッピング電車も走っていました！

大会も、大会の規定が「郷土」をテーマにしたものということなので、他の都道府県の発表を見るとそれぞれの地域の面白い話題を取り上げられていて、一応コンクール形式の大会なのですが発表を見て楽しむことができました。岩国高校もオーディオピクチャー部門では広島カープの二軍練習場である由宇球場を、ビデオメッセージ部門では岩国寿司を取り上げた番組を作りましたが、後で他県の人から感想をもらった時は嬉しかったです（入賞はできませんでしたが）。Nコンの時に知り合った他県の放送部の人とも会うことができたし、来年東京で（Nコン）、茨城県で（いばらき総文）再会も約束しました。それを目標にこれからも活動に励みたいと思います。



各部門の報告

将棋部門

理事長 尾崎 明弘
(下関西高等学校教諭)

将棋は日本伝統の文化であり、子どもの思考能力を鍛えるという優れた教育効果が小中学校で注目されています。また、近年では人工知能開発の一分野として、プロ棋士とコンピュータープログラムの対局が話題を呼びました。

残念ながら本県では生徒減による部活動の統廃合の流れの中で、将棋部のある学校が減少の傾向にありますが、将棋部の活動が充実した学校の生徒は、年々、全国大会等で好成績を挙げています。将棋専門部の活動にご支援のほどよろしくお願いいたします。

1 第35回山口県高校総合文化祭将棋部門

平成25年5月25日(土)・26日(日)

防府市文化福祉会館

男子団体A 参加6校10チーム

第1位 徳山A

(大平 哲也・山下 真弘・吉田 樹)

第2位 防府B

(窪 健太・松永 平賢・宮崎 真洋)

第3位 下関西A

(岡山 貴之・村田 海翔・久保中亮翔)

徳山B

(末田 知大・石丸 友規・藤井 孝夫)

女子団体A 参加1校1チーム

第1位 徳山

(長弘 夢野・河村 莉奈・閑岡 奈々)

団体B(男女共通) 参加3校4チーム

第1位 徳山C

(中村 烈士・金子 真也・矢田 裕誠)

男子個人 参加10校50名

第1位 秋山 宜楓(長府3)

第2位 中村 烈士(徳山2)

第3位 窪 健太(防府2)

藤井 孝夫(徳山3)



敢闘賞 神保 優彩(高川3)

河村 伸哉(防府3)

女子個人 参加2校6名

第1位 小柳 美子(徳山3)

第2位 佐世奈緒子(下松2)

2 第37回全国高校総合文化祭将棋部門

平成25年7月31日(水)・8月1日(木)

長崎県・時津町コスモス会館

男子団体

徳山高校

(大平 哲也・石丸 友規・山下 真弘)

予選リーグ1勝3敗

女子団体

徳山高校

(長弘 夢野・閑岡 奈々・河村 莉奈)

予選リーグ1勝3敗



男子個人

秋山 宜楓（長府3）予選リーグ3勝1敗
決勝トーナメント1回戦敗退
中村 烈士（徳山2）予選リーグ0勝4敗

女子個人

小柳 美子（徳山3）予選リーグ2勝2敗
佐世奈緒子（下松2）予選リーグ1勝3敗

3 山口県高文連将棋専門部研修会

（第18回山口県高等学校将棋新人大会）

平成25年11月3日(日)

防府市文化福祉会館

男子個人 参加8校22名

第1位 松永 平賢（防府2）
第2位 中堀 卓哉（宇部鴻城1）
第3位 中本 晴樹（桜ヶ丘1）
宮崎 真洋（防府1）
第5位 久保中亮翔（下関西1）
中村 烈士（徳山2）

女子個人 参加2校4名

第1位 佐世奈緒子（下松2）
第2位 関岡 奈々（徳山1）
第3位 河村 莉奈（徳山1）

研修会（親睦戦） 参加6名



研修会（指導対局。大盤解説）

指導 日本将棋連盟山口支部 北村公一氏
田中佳久氏

4 第12回中国地区高校将棋選手権大会

平成25年12月21日(土)・22日(日)

鳥取市・とりぎん文化会館

男子個人 参加32名

松永 平賢（防府2）4勝1敗（第5位）
中堀 卓哉（宇部鴻城1）2勝3敗
中本 晴樹（桜ヶ丘1）1勝4敗
宮崎 真洋（防府1）2勝3敗
久保中亮翔（下関西1）3勝2敗
中村 烈士（徳山2）2勝3敗

女子個人 参加14名

佐世奈緒子（下松2）2勝3敗
関岡 奈々（徳山1）3勝2敗
河村 莉奈（徳山1）1勝4敗



5 第21回全国高文連将棋新人大会

平成25年2月1日(金)・2日(日)

北九州市・八幡ロイヤルホテル

男子個人

秋山 宜楓（長府2）予選リーグ3勝1敗
決勝トーナメント1回戦敗退
山下 真弘（徳山2）予選リーグ1勝3敗

女子個人

小柳 美子（徳山2）予選リーグ2勝2敗
親睦戦で敢闘賞受賞
篠田 侑果（防府2）予選リーグ1勝3敗

各部門の報告

文芸専門部門

理事長 桑原範恵
(徳山高等学校教諭)

今年度の文芸部門の活動状況を報告します。

1 山口県高等学校総合文化祭総合開会式慶祝展示

文芸部門は全国高等学校総合文化祭富山大会文芸部門のパネル写真を展示しました。また、全国総文祭山口県代表の徳山高校文芸誌『耿光』、全国高等学校文芸コンクール奨励賞の山口高校文芸誌『無蓋車』、あわせて県内各高校の文芸誌を展示しました。

2 全国高等学校総合文化祭長崎大会

7月31日(水)から8月4日(日)の5日間、長崎県立大学シーボルト校を中心会場として、全国総文祭文芸部門大会が開催されました。山口県代表として、柳井商工高校2名、西京高校1名、萩高校1名、徳山高校1名の計5名が参加しました。大変有意義な大会でした。

3 第11回山口県高等学校文芸コンクール

今年度の県コンクールには9校69作品、53名の応募があり、この中から各部門の最優秀4作品、最優秀学校賞1校が選出され、来年度の全国総合文化祭への出場が決まりました。

散文の部 下松高等学校2年 神田 海央
『宝石の時間』

詩の部 徳山高等学校1年 中山 由菜
『世界観』

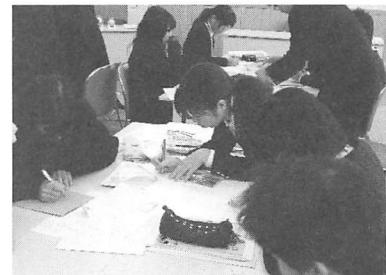
短歌の部 高森高等学校1年 廣瀬 和美
『風吹けば』

俳句の部 徳山高等学校2年 浴井 葉
『奈落より』

最優秀学校賞 徳山高等学校

4 第15回高校生文芸道場中国ブロック大会（鳥取大会）

11月17日(日)文芸道場中国ブロック大会が鳥取県米子市米子コンベンションセンターで開催され、作品コンクールの表彰式、小説家光原百合氏による講演、小説創作のワークショップが実施されました。中国ブロック大会の作品コンクールでは短歌部門で柳井商工高校の矢田順平君が最優秀賞に輝いたのをはじめ、柳井商工高校の兼重咲希さんが優秀賞、柳井商工高校の朝妻愛実さんが入選、散文部門では西京高校の伊川加奈江さんが入選し、山口県の高校では近年になく多くの賞を受賞しました。大会には西京高校が参加し、他県の生徒との交流によって県内では得られない充実した一日を過ごしました。



5 第28回全国高等学校文芸コンクール

昨年に引き続き、山口高校の文芸誌が奨励賞を受賞しました。

6 文芸研修会

1月25日(土) 9:30~15:00

会場 下松市文化会館（スターピア下松）

松山「俳句甲子園」OB・OG等派遣事業による俳句のワークショップを行いました。



全国高等学校総合文化祭文芸部門参加報告（感想文）

○ 山口県立西京高等学校 3年 伊川加奈恵（散文部門）

文学散歩に参加しました。文学散歩では長崎のキリスト教の歴史と文化に触れ、文学への理解を大いに深めるものになりました。特に日本でキリスト教を伝えた、ド・ロ神父が当時どのような生活をしていたかを知ることができたことは、非常に興味深いことでした。また、原爆資料館へ行き、あの日、長崎に起こった悲惨な出来事を追体験することができました。資料館に当時を再現するように置かれていたものから、今にも叫び声が聞こえるような気がし、目を背けたくなるようなものばかりでした。しかしこれらが事実であり現実であり、この衝撃は今でも忘れていません。平和公園の「爆心地」でこれから変わらぬ平和を願いました。

○ 山口県立萩高等学校 3年 河村祐貴子（詩部門）

今回の交流では同世代の作品に触れ、また自分の詩への評価を貰い、よい刺激を受けた。同じ詩を読んでも受け取り次第で全く意味が異なる事を痛感した。自分の思いが伝わらない悔しさと、相手の価値観の多様性に感激した。文を正確につかむ国語の試験とは違う。視覚ではなく感覚で読むもの。それが文芸作品であると思った。貴重な体験ができたと思う。

○ 山口県立柳井商工高等学校 3年 朝妻愛実（短歌部門）

自己紹介が終わった後、長崎に来て感じたことを短歌にした。その後、講師の先生の講演が行われ、資料をもとに、短歌とはなにか、短歌を詠むということはどういうことかということを丁寧に説明してくださった。例として生徒の作品を添削し説明するという過程で、私の作品も添削してくださっていた。助詞が欠け窮屈な印象を与えるということと、過剰に説明しないということを教えてくださった。その後、班の中で、お互いに自分の短歌の発表と、添削したところの説明をした。それぞれがもちろん初対面だったが、活発に意見を交わすことが出来たと思う。昨年よりは気持ちに余裕があり、学ぶことも多かったし、分科会を楽しむこともできたと思う。

○ 山口県立柳井商工高等学校 3年 清弘希美（俳句部門）

俳句発表では、私以外の他県の班員は昨日に行われた「文学散歩」の中での情景や思いを俳句にしていた。特に、原爆の恐ろしさや悲惨さについての句が多くかった。長崎ならではの句だと思った。平和な時代に生まれたことの幸せや、これからは私達が平和を守っていかなければならないという責任を感じた。みんな意見がしっかりとしていて、自分の思いをはっきりと伝えていた。みんなの感想や意見を聞いていると、私の世界も広がるようだった。

最後に、事前に提出していた俳句について講師の先生が講評をしてくださった。私の俳句に関しても「いい感性をしている」と好意的な意見をくださいり、感激した。その時にいただいたアドバイスをもとに、これからも精進していきたい。他の参加者の俳句の中には、私には思いつかないようなものも沢山あり、「空一つみても、感じたり考えたりすることが違うのだから、育ってきた環境や見てきたものの違いでこんなにも発想に違いがでてくるんだな」と思った。

○ 山口県立徳山高等学校 2年 岡川奈央（文芸誌部門）

思い返すと、長崎の総合文化祭は発見ばかりだった。文芸誌については他校の方から指摘されて気づく改善点もあった。梅光学院大学の渡辺玄英先生から、文芸誌全体のことから作品のことまで様々な話をしていただいた。私は表現の仕方についての話が印象に残っている。渡辺先生は「自分が伝えたいことは自分が選んだ形式で伝わるのか」と聞かれた。形式とは、小説や詩、短歌などのことだ。振り返ると、今までずっと形式のことなど考えず、ただ自分が好きだというだけで小説だけを書いていた。しかし、文章を書く上で大切なのは伝えることだ。そのことを踏まえ、新たな形式にも挑戦しなければいけないことに気づかされた。

各部門の報告

マーチングバンド・バトントワリング部門

理事長 内田良一
(山口県鴻城高等学校教諭)

平成25年度山口県高等学校文化連盟マーチング・バトントワリング部門の活動状況を報告いたします。

1 第35回山口県高等学校総合文化祭総合開会式

平成25年6月15日(木)

テーマ「はばたけ 情熱の空へ

響け 感動の波」

宇部市渡辺翁記念会館にて開催されました慶祝演奏では慶進高等学校バトン部が、バトンやダンス演技を披露されました。

2 第35回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会

総合開会式の翌日、16日(金)・17日(土)の2日間で開催されました音楽4部門発表会では、慶進高等学校・誠英高等学校がバトントワリングの演技で出演いたしました。大変表情豊かで素晴らしい演技をしていただきました。



各部門の報告

自然科学部門

理事長 大田和子
(宇部高等学校教諭)

今年度、自然科学部門では、長崎総文祭で、はじめて研究発表を行いました。参加校と発表テーマは以下のとおりです。

- ・生物部門 高川学園高等学校 科学部 「環境定数から推定するオオサンショウウオの個体数」
- ・地学部門 山口県立山口高等学校 天文部 「地球の大きさを測る～伊能忠敬の測量の検証」
- ・ポスター発表 高川学園高等学校 科学部 「鉄バクテリアの化学合成と発生する電流の関係」

応募の少ないなか、高川学園高校科学部と山口高校天文部が県代表として立派な発表をされました。以下に参加した高川学園高校の生徒からの感想と、奨励賞を受賞した山口高校の研究概要と感想を掲載します。

[全総文祭に参加して]

高川学園高校 野崎己都美 小枝茉莉子

今回、総合文化祭に参加させていただきありがとうございます。私たちはこのような発表の舞台に立つことや全国の集まった高校生と発表で競い合うことも初めてでした。

初日から発表が始まり、他校生の堂々とした発表、高度な研究内容、その内容をきちんと理解し、その疑問を質問して理解している姿に私たちは圧倒されました。さすが全国から選ばれた学校の生徒たちであって、翌日の発表のある私たちは極度の緊張に襲われました。しかし、緊張に負けてはならないと私たちは宿泊場に戻り、何度も練習を続けました。本番では練習したことがきっかけに堂々と発表することができ私たちは達成感でいっぱいになりました。

しかしながら、今回賞に選ばれなかったということは至らない点がたくさんあったのだと気付かされました。そのことを生かし次の発表のとき改善していきたいです。総合文化祭に参加させていただいたことで、全国の高校生の頑張りを間近で感じ自分たちを成長させることができました。これからもこの貴重な経験を生かし成長して行こうと思います。

高川学園高校 有馬百花 藤井麻由

今回、長崎しおかぜ総文祭に参加させていただきました。私たちはポスター部門に、「鉄バクテリアの化学合成と発生する電流の関係」を発表しました。開会式の直後からポス

ターの前にスタンバイし、約2時間後の審査まで、他校の生徒や先生達を相手に、発表と質疑応答をひたすら繰り返しました。プレゼンテーションの練習なのに、中には鋭い質問があり苦労しましたが、自分たちの研究内容をより正確に伝え理解してもらえるよう努めました。

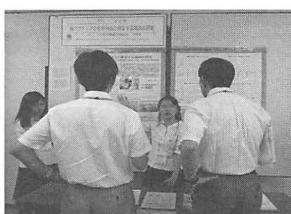
審査の本番では、生徒間の発表とはまた違った緊張感がありました。プレゼンするうちに肩の力も抜け、終わった後は安堵と達成感が残りました。二人で十分準備していたので、質疑にはかなり自信を持って答えることができました。審査終了後に、他校の発表を初めて見たときに「内容が難しそう…」の一言でしたが、分からぬ人にも分かるように丁寧に説明してもらえたので、専門外の研究でも少しは理解できたと思います。このようなプレゼンに対する真面目な取り組みと、発表中の堂々とした態度には感動すら覚えました。

自分達なりに審査を乗り越えたつもりでは、相手に感動を与えるような科学の喜びを生み出すレベルには達していないことに気付きました。

二日間にわたる審査が終わった後には、大ホールで生徒交流会がありました。短い時間であったものの他校の人達と親しくなることができ、楽しい時を過ごすことができました。三日目の巡査研修では、雲仙地獄巡りコースを地元の高校生の案内のもと、楽しく会話を交えつつ歩き回りました。目に映るもの全てが新鮮で、今でも脳裏にしっかりと焼きついています。

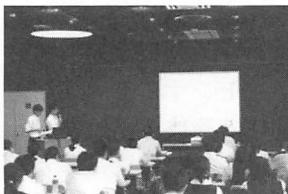
残念ながら入賞はできませんでしたが、今回の総文祭で他校の生徒と触れ合いよい刺激と成りました。また、研究内容の欠点も見つかり、これから改善していきたいと思います。

最後になりましたが、実行委員長をはじめとする長崎県内の高校生の皆さんには、長崎しおかぜ総文祭を開催するにあたって、長い期間の準備があつたこと思います。そのおかげで有意義な三日間を過ごさせていただいたことに感謝しています。ありがとうございました。



地球の大きさを測る～伊能忠敬の測量の検証～
 山口県立山口高等学校 天文部 2年
 小林宏暢・藤田孟・水津優斗・粟屋雄大
 (指導者：勝谷俊彦)

平成25年8月2日(金)～4日(日)、第37回全国高等学校総合文化祭（長崎しおかぜ総文祭）が、長崎県島原市にて開催されました。全国から各県代表（自然科学部門約120チーム）の発表がありました。山口高校天文部は、地学部門で山口県代表として研究発表を行い、奨励賞（全国4位）を受賞しました。



発表の様子



表彰式後

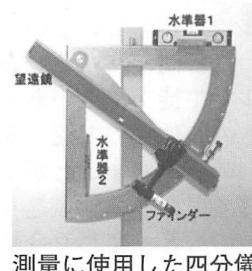
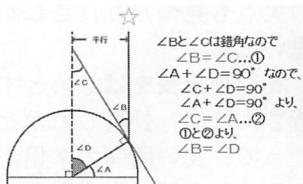
研究概要

天文部の歴代部員が進めてきていた内容を引き継いで、現2年生4名が継続研究をしてきました。

伊能忠敬が日本の地図を江戸時代に幕府の依頼を受けて作成した話は

有名ですが、実は地球の大きさを測ってみたかったという話がありました。四分儀とよばれる測量装置を用いて、その地点から北極星の高度を知ることにより、緯度を知ることができます。同じ経線

上で2地点の高度を測れば、地球のおおよその大きさを知ることができます。

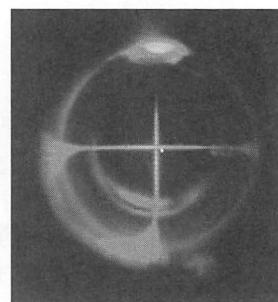
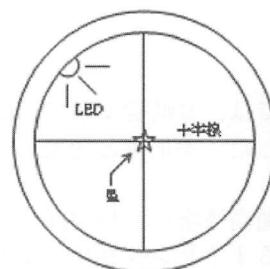


測量に使用した四分儀

実は北極星は天の北極に正確にあるわけではなく、北極星も日周運動をしていることから、正確に高度を測量しても、正確な緯度でない可能性もあります。伊能はそのことにも気づいており（文献から）、補正を加えております。

現代の測量器具やGPSといった技術も存在しない時代に、高精度な結果を残した測量方法に関心をもちました。伊能の事跡を踏まえ、自分たちで

測量したデータから、誤差を減らしたできるだけ正確な地球の大きさを算出することを目的としました。測量技術や装置の改良、地方恒星時、時角から補正も学習し、地球の大きさを算出しました。



四分儀の望遠鏡から見える十字線と北極星

<生徒の感想から>

研究では、北極星を望遠鏡に入れる必要がありました。装置の使用方法の練習と装置の測量精度を確かめるために、学校のグラウンドから近くの電波塔を入れ、その塔の高さを測りました。なかなかうまくいかず、焦ることもありました。望遠鏡部分などに工夫をこらしていく過程は楽しく、良い結果が出た時はうれしくてメンバーと喜び合いました。夜に学校が終わってから顧問の先生の車で、萩（笠山）や秋穂（周防大橋）に実際に北極星を測量しに行なった時には、本格的に研究が進んでいく実感を持つことができました。



今回の発表は、スライドづくりが大変でした。作っては、やり直し、発表直前まで修正を加えました。作っていく過程で、良くなっていく実感があり、とても楽しかったです。本番では時間内に、聞き手にうまく伝えることができたと思います。終わった後の達成感は言葉ではうまく言い表せないほどです。また、奨励賞までいただき、本当にやってよかったと心から思いました。人前で研究発表をする経験は今までしたことがない、この大会は人生の宝になりました。時間をかけた分、仲間との絆をさらに深くすることができました。

今回の研究をするにあたって、顧問の先生とチームの仲間には本当にお世話をになりました。ありがとうございました。

各部門の報告

小倉百人一首かるた部門 (平成25年度より加盟)

理事長 青 池 のぞみ
(下関南高等学校教諭)

1 部門の活動報告

小倉百人一首かるた部門は平成25年度に発足したばかりの部門です。発足して1年目ということで、すべてが初めての事ばかり、手探りでのスタートとなりました。県高文連会長をはじめとする事務局の先生方、他の専門部の理事の先生方、また百人一首かるたの先進県である他県の先生方に御助言をいただきながらなんとか初年度を終えることができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

県内には、かるた部のある学校はまだありませんが、かるた競技の選手として活躍する高校生の人口が近年急増してきました。かるた競技は、「畳の上の格闘技」といわれています。静寂と美しい日本語の調べのなかで自己と向き合う高度な集中力と記憶力、相手に勝る瞬発力、そして常に冷静な判断力、長時間の対戦に耐え得る精神力が求められる厳しい競技です。また美しい振る舞いも必要です。生徒たちは、各自で公民館などの稽古場を工面し、日々厳しい稽古に取り組んでいます。山口県では、二人のかかるたクイーンに選手育成に携わっていただき、かるた協会と協力しながら、錬成会や合宿も実施し、各種大会でも好成績を収めています。

かるたに向き合って集中している生徒の顔は、とても熱く輝いています。山口県から、未来の名人・クイーンが育つことを期待してやみません。

2 第35回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会の報告

滋賀県大津市の近江神宮で毎年開催される、かるたの甲子園とよばれる名誉ある大会です。今年は7月27日(土)団体戦、28日(日)に個人戦が開催され、下関南高等学校、小野田高等学校、下関商業高等学校の生徒計7名が出場しました。

団体戦 ベスト16 下関南高等学校

(3年 久保翔太郎・小島 涼・矢野 朝香)

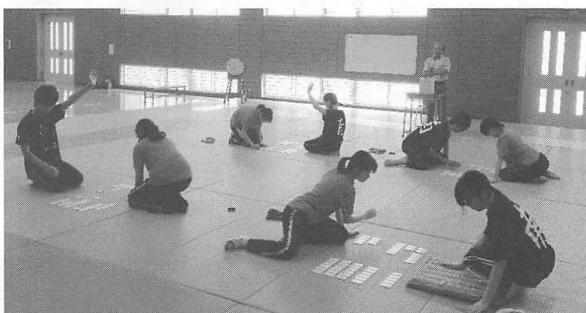
1年 大澤 歩美・奥野希美佳)

個人戦

C級4位 下関南高等学校3年 矢野 朝香
D級4位 下関南高等学校1年 大澤 歩美

3 第37回全国高等学校総合文化祭（長崎大会）小倉百人一首かるた部門の報告

8月2日(金)、3日(土)、4日(日)の3日間、長崎県立総合体育館において開催されました。山口



県は3校合同8名での出場となりました。

団体 ベスト16 山口県合同チーム

下関南高等学校

3年 久保翔太郎、小島 涼
矢野 朝香

小野田高等学校

3年 森上亜希子、村田 萌夏
2年 川上 琴子、佐藤 絵里

下関商業高等学校

2年 橋本 拓海



全国高等学校総合文化祭に参加して

豊浦高等学校 2年

西本 昂平

1学期がもうすぐ終わる頃、昼休みに先生に呼ばれたのが全ての始まりでした。職員室に呼ばれることが少ないせいか、ドキドキしながら職員室へ向かいました。今思えばこの時が一番緊張していました。そして全国高等学校総合文化祭に豊浦高校が山口県を代表して1名参加するという話を聞き、最初は「なぜ自分が選ばれたのだろうか。」などと考えていました。しかし、先生方に後押しされて、「やってやる！」という気持ちが高まり参加することを決意しました。先生の説明で、特産品を調べ、開会式で県旗を広げ「山口県、人口1,424,660分の1！」と宣言するということを知りました。

夏休みに入り、本番の1日目に長崎に向かいました。空が暗く、天候が心配でしたが、ホテルへ歩いて向かう途中、路面電車や洋風な建物など、普段見られないものが見られてとても記憶に残っています。

翌日、長崎県立総合体育館にはリハーサルなどの関係で朝早くから行きました。会場で他の県の人達を見るとほとんどが3年生女子で、少し壁を感じていました。が、隣の席の人が気軽に話しかけてくれたおかげで、本番に近づくにつれてその壁も徐々に薄くなってきました。リハーサルが終わり昼食を済ませ、いよいよ本番が始まりました。本番はあっという間でした。緊張をしないように「いつも通り」を意識し、しっかりと宣言することができました。

第1部での生徒実行委員会委員長・吉村優子さんのスピーチは、同じ高校生とは思えないほど素晴らしい、圧倒されました。その後、国際交流として、大韓民国の色鮮やかな衣装を纏い、大きな扇子を持って踊る「扇舞（プチュチュム）」、中華人民共和国の独特な雰囲気を感じさせる「敦煌隨想」、オランダ王国の俳句の独唱、オランダの

シンガーであるマイリー・サライアスさんによる歌や演奏などを披露した「Voice of the Foxes from Zeeland」はどれもそれぞれの国を感じさせる作品でした。また第2部の三県交流では、富山・長崎・茨城の代表校が持ち味を發揮し、観客をどんどん引き込んでいくような迫力のあるコラボレーションステージが見られました。

あれから数ヶ月経ちましたが、今でも山口県の人口が言えるほどあの言葉は心に残っています。ほんの数秒の出来事でしたが、その時間は決して忘れる事はないと思います。この経験は自分に様々な自信を与えてくれました。生徒会副会長として、また一人の人間として大きく成長することができたと思います。この自信を失わず、日々の生活を送っていきたいです。



自主事業・補助事業の報告

《自主事業》【巡回演劇公演】劇団「海峡座」 小野田高校

広沢 和恵

今日初めて劇団の劇を鑑賞しましたが、とても感動しました。耳なし芳一の話は小さい頃から大好きな話で、平家物語も小学生の頃に読み知っていましたが、この公演で見方が変わりました。私が一番感動したのは古語の響きの美しさです。今まで古語は言いづらく、響きや流れが好きではなかったのですが、きちんと読むとともに美しいことが分かりました。また、現代語に訳したり、説明を入れたものだと意味の取り方が変わることが分かりました。私は今、朗読の練習をしているので、今後の練習のお手本にしたいと思います。本当にありがとうございました。

向井 文哉

私ははじめ、“リーディングシアター”というものが分からませんでした。なので、劇の頭の方は、劇がどうなっているのか分からず聞いていました。しかし、話が進むごとに、リーディングシアターが朗読を中心とした演劇と分かってきて、それからお話の中に吸い込まれるように引き寄せられました。ほとんど動きがないのに、話の中の緊張感・不気味さ・迫力などが伝わってきて、朗読の表現力のすごさに驚きました。私は生徒席の1番端あたりで聞いていて、ステージ上の人たちがあまり見えなかつたのですが、聞こえてくる声、BGMだけでもお話の様子が十分に想像でき、本当にすごいなと思いました。また、お話も山口に伝わる「平家物語」、「耳なし芳一」が合わさっていて、だいたいの話も分かっていたので話の雰囲気に入りやすかったです。そして、その話のおもしろさも改めて感じ取ることができたのでよかったです。高校に入って初めての芸術や文化にふれる会でしたが、今回参加して朗読の表現力のすごさを初めて感じることができました。貴重な体験をさせて下さってありがとうございました。

鈴木 遥奈

一番印象に残ったのが、芳一の耳だけが見えてしまい、ちぎられてしまった場面です。悲鳴と共に私の体から冷や汗がどっと出てきました。目の前で本当に起こっているような錯覚におちいり、とても怖く、また面白かったです。リーディングシアターというのを初めてみて、これほど面白く、「読む」ということでこんなにもたくさんの事が伝わってくるんだとびっくりしました。普段、私たちがしている「音読」とは違い、声の強弱、気持ちを込めた言葉1つ1つが心に響いてくるを感じました。あんなにも声が通つてまるで目の前で本当に起こっているのではないかと思うくらい、凄いと思いました。今回の演劇を見て、普段の音読への意識を改めようと思いました。本当に良き時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

廣田 早紀

今回の演劇を見れたことは凄くいい経験だと思います。普段では見る機会もないと思うので今日見れて本当によかったなと思いました。始めは、「何か劇をするのかな」と思っていました。でも朗読をするだけと知って驚きました。でも、聞いているうちに、自分の頭の中でその場面1つ1つが描かれていて、朗読の力って凄いなと感じました。文章も読み方1つであんなにも表現力が出てくるんだと思ったら、私も国語の教科書の文や小説の本などを感情込めて読んだら分かりやすいのかなと思いました。音響も場面と合っていてより見ていて心惹かれました。今日はありがとうございました。

安部 雪菜

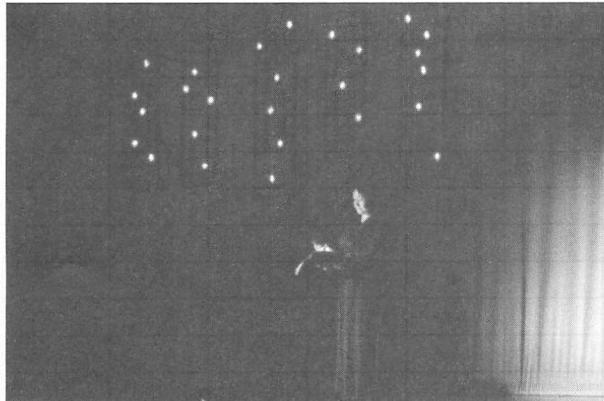
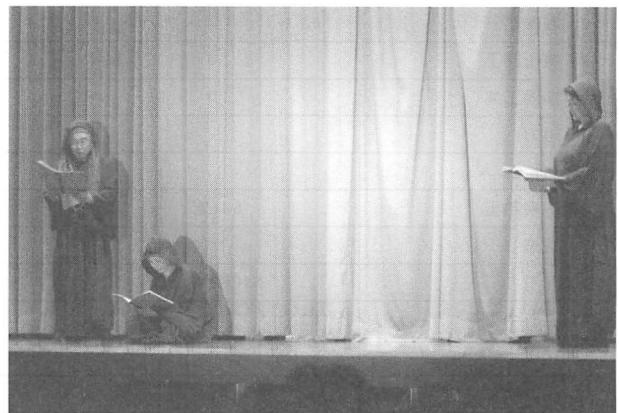
本日はたいへんありがとうございました。「読む」という事1つをとっても、私達が普段何となく、何気なくしている事とは違い、日々の練習というものを感じました。私は今、和裁の学校への

進学を考えているのですが、たしかに最近では歴史、文化といったものにふれる事は確実に減っていると思います。そんな中での本日の演劇は本当に良い体験となりました。歴史、文化、そして日本という国は改めてよいものだな、としみじみ思います。和裁という、日本の着物文化も今だんだんとうすれてしてまっていて、日本の歴史ともども、なくしてしまうにはとてもおしいものだと、私自身感じています。こういったものに、何がきっかけで興味を持つようになるかは分かりませんが、本日の演劇は私の中ではまた新しく、身近に感じるきっかけの一つになったのはたしかです。これからも、少しでも多くの方々に歴史、文化、日本という国のすばらしさを広めていって欲しいと思います。

山本真夕季

本日はとても演劇向けとは言えない舞台で最大限の演技、演出をして下さってありがとうございました。ステージの背景が黒色であれば、ピンマイクなどの音響設備が整っていれば、もっと良かったのにと勿体なく思っています。内容の方は、

耳なし芳一は元から、平家物語は授業で勉強してある程度知っていたので、古文調のところも含めて掴みやすかったです。耳なし芳一により、平曲を聞かせるという二重の構成は、平家の亡靈の哀しみや悔やみを良く引き立たせていたと思います。安徳天皇と一緒に海に入り自害する母親のシーンでは、平家物語の主題である無常観がひしひしと伝わってきて心が痛みました。劇団員さん1人1人の手により、時代背景や、波の寄せる海岸の風景、盲目の芳一が感じ取る亡靈の怪しさなどが作り上げられているのに大変感動しました。言い方は良くありませんが、生身の人間1人だけから、あれほどの世界観が想像できるとは思っていませんでした。本日は本当にありがとうございました。



山口県高等学校文化連盟自主事業実施校一覧 (No.1)

数字は実施年度(62~63は昭和、1~25は平成)、※は今年度実施予定、(定)は定時制、(分)は分校

番号	事業 学校	ピアノ	マリンバ	フルート・ デュオコンサート	胡弓打楽器・トランペット	尺八と琴・ オペレッタ	交響楽団	演劇	金管合奏 みんなdeリズム	ソプラノ 電子オルガン	リコーダー・ ヴァイオリンとチェロ
1	周防大島	63				7	3,4,10	10,21			
2	岩国								1		
3	岩国総合						11		1		
4	坂上			63	11		5	3			
5	広瀬		14	63			17	20		21	
6	高森						2				
7	岩国商業			3				62,15			
8	岩国工業						2	6,8			
9	柳井						7	11			
10	柳井商工						11,14	1,4,11,14			
11	熊毛南	63					6,17	12,24			19(分)
12	田布施農業					15(分)	3,18	5,24			18(分)
13	田布施工業						20	16			
14	光	63					8,23	17	20(定)		
15	光丘						8,11	14			
16	下松	63			12	7	15				
17	華陵	63					8	1			
18	下松工業						1				
19	熊毛北						2,14	63,7			
20	徳山		4(定)		10(定)	8(定)	15	12			
21	徳山北		63				4,11	8		21	
22	鹿野		3		10		9	1,16			
23	新南陽	63					22	5,14			
24	徳山商工		5	63				3,4,7	1		
25	南陽工業		1				62				
26	防府								1		
27	防府西						10		1		
28	防府商工		63(定)				12	6			
29	佐波			63		7					
30	山口		62(定)16(定)			15(定)	2				
31	山口中央	63	12		10	13					
32	西京	62					4	7			
33	山口農業						5,21	3,24			
34	宇部	63									
35	宇部中央		1(定)			14(定)	10,19	63			
36	宇部西						14	10,23			
37	宇部商業			63			62,6	3			
38	宇部工業		13	2			8				
39	小野田		63(定)	19(定)				22			
40	厚狭			1			15,21	9,18			
41	小野田工業		63(定)					4			
42	美祢	62	23		8		4	2		18	
43	青箱						63	10			22
44	田部						1,13	18,20			
45	西市						63	22			

山口県高等学校文化連盟自主事業実施校一覧 (No.2)

数字は実施年度(62～63は昭和、1～25は平成)、※は今年度実施予定、(定)は定時制、(分)は分校

47	長府								1		
48	下関西										
49	下関南										22
50	響		5				1				
51	豊北	62					3	15,22			
52	下関中央工業						12	6			
53	下関工業	62						2			
54	大津	63					12	5			
55	日置農業	63	5		15	9	19	2,13,23			
56	水産						12				
57	萩	63					3	6			
58	萩商工	63					6,7,16	2,4,9,12,17,23			
59	徳佐			63(分)			63,10,20	13			
60	奈古		17(分)		11		1,9,24				
61	下関中等							5			
62	岩国総合支援		3,13		16		24	10,19			
63	田布施総合支援		6	17			62				
64	周南総合支援		15	17					20		
65	徳山総合支援		11	1							
66	防府総合支援	62	3	63	12		16				
67	山口南総合支援										
68	山口総合支援			19			14				
69	宇部総合支援		63,5,14				1,9	18			
70	下関南総合支援	63	3		16	8,10	7	1			
71	下関総合支援		2,6				16				
72	豊浦総合支援		11,16			13		19,21			23
73	萩総合支援		6,24								
74	下関商業				14(定)			62			
75	高水							63			
76	柳井学園		6								
77	聖光						2				
78	山口県桜ヶ丘										
79	誠英							7,9			
80	高川学園										
81	中村女子	63					2,5,22	11,16			
82	野田学園	63					18				
83	山口県鴻城						10	12,15			
84	宇部鴻城						7	9			
85	廣進						23				
86	成進										
87	宇部フロンティア香川						1,5,15	11,19			
88	サビエル										
89	早鶴										
90	下関短大付属	62,63	4			7		8			24
91	長門						6				
92	萩光塙										

平成25年度 山口県高等学校文化連盟 事業報告

※斜体は事務局関係

月	日	事業	会場
4	11	会計監査 平成24年度「高文連会報」発行	山口中央高校
	18	第1回高文連企画運営委員会	山口中央高校
5	10	高文連評議員会 平成24年度集録「高文連」発行	山口市：セントコア山口
	21	自主事業 巡回演劇「宇部芸術座」	大津緑洋高校日置校舎
	25 ~ 26	県高校総合文化祭（将棋部門）	防府市文化福祉会館
	26	県高校総合文化祭（小倉百人一首かるた部門）	小野田高校
	28	公益社団法人全国高等学校文化連盟定時総会	東京：ホテルフロラシオン青山
6	11	自主事業 青少年劇場小公演「ヴァイオリンとチェロのコンサート」	山口高校徳佐分校
	13	第35回県高校総合文化祭総合開会式	宇部市渡辺翁記念会館
	14 ~ 15	県高校総合文化祭音楽4部門発表会	宇部市渡辺翁記念会館
	15	県高校総合文化祭（日本音楽部門）	シンフォニア岩国
	17	自主事業「山口県交響楽団演奏会」	下関南総合支援学校
	17	自主事業「山口県交響楽団演奏会」	下関工業高校
	28	第24回中国地区高文連関係者合同会議	鳥取県米子市：ハーベストイン米子
	7 31 ~ 4	(公社) 全国高等学校文化連盟各専門部会	長崎県
	31 ~ 4	第37回全国高等学校総合文化祭	長崎県
8	1	(公社) 全国高等学校文化連盟加盟団体代表者会議	長崎県長崎市
	19 ~ 20	全国中学校総合文化祭（山口大会）※県大会を兼ねる	山口市民会館
	24 ~ 25	第24回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	東京：国立劇場大劇場
10	1 ~ 6	県高校総合文化祭（美術・工芸部門）	下関市立美術館
	3	自主事業 巡回演劇「劇団海峡座」	小野田高校
	4	自主事業 青年劇場小公演「マリンバコンサート」	周防大島高校
	18	県高校総合文化祭（芸能部門）	徳山高校
	21	自主事業 巡回演劇「劇団のんた」	新南陽高校
	26 ~ 27	県高校総合文化祭（演劇部門）	宇部高校
	26 ~ 27	第16回中国地区高校小倉百人一首かるた大会	島根県：益田市民学習センター
	27	県高校総合文化祭（囲碁部門）	山陽小野田市文化会館
11	7 ~ 10	県高校総合文化祭（写真部門）	新南陽ふれあいセンター
	8 ~ 10	県高校総合文化祭（書道部門）	山口市民会館
	9	県高校総合文化祭（放送部門）	ニューメディアプラザ山口
	17	第15回高校生文芸道場中国ブロック大会	米子市：米子コンベンションセンター
	23 ~ 24	第51回中国地区高校演劇発表会	米子市：米子コンベンションセンター
		第1回高文連専門部理事長会	山口中央高校
12	5	第25回全国高等学校文化連盟研究大会（秋田大会）	秋田市：秋田市キャッスルホテル
	6	全国高等学校文化連盟実務担当者会議	秋田市：秋田市キャッスルホテル
	21 ~ 22	第17回中国高校囲碁選手権大会	岡山市：山陽新聞本社ビル
	21 ~ 22	第12回中国地区高校将棋選手権大会	鳥取市：とりぎん文化会館
1	31	第2回高文連専門部理事長会	山口中央高校
2	20	第2回高文連企画運営委員会	山口中央高校
3	14	平成25年度中国地区高文連実務担当者会議	鳥取県米子市：米子西高校
	24	山口県中文連・高文連合同調査研究打ち合わせ会	山口市立大殿中学校
	29	第34回山口県高校器楽・管弦楽スプリングコンサート	防府市地域交流センタースピラート
【その他】		県高校総合文化祭準備（実行）委員会 総合開会式・音楽4部門発表会（宇部中央高校・宇部地区） 美術・工芸部門（下関商業高校）、書道（山口高校）、写真（新南陽高校） 日本音楽・吟詠部門（下関短大付属高校）、囲碁部門（宇部高校）、 将棋部門（下関西高校）、文芸部門（徳山高校） ※以上、主管校等を中心に開催 各専門部会・・・・部会長校を中心に開催 各専門部研修会・・・県下各地において開催	

平成25年度 山口県高等学校文化連盟会計決算書

収入総額	18,580,506
支出総額	14,556,495
差引残高	4,024,011

収入の部		(単位:円)		
区分	予算額	決算	増減(減△)	摘要
繰 越 金	3,185,691	3,185,691	0	
会 費	12,179,800	12,210,350	30,550	
(内訳)				全日制350円×34,390人 定時制・総合支援学校 50円×1397人 学校負担金 100円×1040学級
補 助 金	4,244,000	3,046,331	△ 1,197,669	
(内訳)				県総文祭補助金 全総文祭補助金
参加負担金	129,000	126,000	△ 3,000	全総文祭
繰 入 金	0	0	0	
雑 収 入	1,509	12,134	10,625	定期利息、コピー機使用料等
合 計	19,740,000	18,580,506	△ 1,159,494	

支出の部		(単位:円)		
区分	予算額	決算額	残高(超過△)	摘要
運 営 費	2,275,000	1,648,936	626,064	
(内訳)				
事 務 費	400,000	314,440	85,560	事務機器維持費 事務用品 ホームページ維持管理費
通 信 費	250,000	322,909	△ 72,909	電話 郵便 運送料等 傷害保険料
分 担 金	525,000	524,600	400	全国高文連会費 賛助会費 中国高文連分担金 県文連会費
賃 金	1,100,000	486,987	613,013	事務補助賃金
会 議 費	1,600,000	1,182,805	417,195	全国(県外)会議 県内会議 会議用お茶 中国地区会議 研究大会参加費
事 業 費	14,487,000	11,224,754	3,262,246	
(内訳)				
県総文祭	6,128,000	4,782,214	1,345,786	総合開会式 各部門大会開催費
全総文祭	4,000,000	2,851,498	1,148,502	生徒旅費補助 引率旅費補助 運送費 参加負担金
自主事業	1,782,000	1,542,000	240,000	自主事業 7公演
大会補助金	50,000	50,000	0	特別支援学校文化祭
専門部会費	2,187,000	1,930,372	256,628	通信費 全国分担金 研修費 役員旅費保険
印 刷 費	330,000	68,670	261,330	県総文連会費 賞状
中高連携費	10,000	0	10,000	中高文連交流事業
調整基金	500,000	500,000	0	
予 備 費	878,000	0	878,000	
合 計	19,740,000	14,556,495	5,183,505	

平成25年度 調整基金会計決算見込書

前年度繰越	一般会計から繰入	今年度末残高
8,900,000	500,000	9,400,000

上記の通り相違ありません

平成26年 4月 10日

監事 山本貴司
監事 河本太郎

平成26年度 山口県高等学校文化連盟 事業計画

月	日	事 業	会 場
4	10	会計監査 平成25年度「高文連会報」発行	山口中央高校
	22	第1回高文連企画運営委員会	山口中央高校
5		高文連評議員会 平成25年度集録「高文連」発行	山口市：セントコア山口
	20	自主事業 巡回演劇「宇部芸術座」 公益社団法人全国高等学校文化連盟定時総会	東京：ホテルフロラシオン青山
	24	県高校総合文化祭（小倉百人一首かるた部門）	小野田高校
	24 ~ 25	県高校総合文化祭（将棋部門）	防府市文化福祉会館
6	10	自主事業 青少年劇場小公演「リコーダーとともに」	下関短期大学付属高校
	12	第36回県高校総合文化祭総合開会式	下関市民館
	13 ~ 14	県高校総合文化祭音楽4部門発表会	下関市民館
	14	県高校総合文化祭（日本音楽部門）	山口市民会館
		自主事業 青少年劇場小公演「となりの国の打楽器と踊り」	防府総合支援学校
		自主事業「山口県交響楽団演奏会」	
	27	自主事業「山口県交響楽団演奏会」 第25回中国地区高文連関係者合同会議	鳥取県米子市
7	27 ~ 31	(公社) 全国高等学校文化連盟各専門部会	茨城県
	27 ~ 31	第38回全国高等学校総合文化祭	茨城県
	28	(公社) 全国高等学校文化連盟加盟団体代表者会議	茨城県つくば市
8	30 ~ 31	第25回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	東京：国立劇場大劇場
9			
10			
	16	自主事業 巡回演劇「劇団海峡座」 自主事業 青少年劇場小公演	徳山高校
	25 ~ 26	県高校総合文化祭（芸芸部門） 自主事業 巡回演劇「劇団のんた」	防府市公会堂
	26	県高校総合文化祭（演劇部門）	徳山商工高校
	27	県高校総合文化祭（囲碁部門）	宇部西高校
	28	補助事業「藤田卓也テノールコンサート」	長府高校
		補助事業「藤田卓也テノールコンサート」	
11	4	補助事業「吉田豊ジャズコンサート」	周防大島高校（橋町：橋総合センター）
	5	補助事業「吉田豊ジャズコンサート」	熊毛南高校
	7 ~ 9	県高校総合文化祭（写真部門）	新南陽ふれあいセンター
	8	県高校総合文化祭（放送部門）	ニューメディアプラザ山口
	8 ~ 9	県高校総合文化祭（書道部門）	宇部市文化会館
	8 ~ 9	山口県中学校文化連盟第10回総合文化祭	シンフォニア岩国
	14 ~ 16	県高校総合文化祭（美術・工芸部門） 第16回高校生文芸道場中国ブロック大会	ときわ湖水ホール
		第1回高文連専門部理事長会	広島県
			山口中央高校
12	4 ~ 5	第26回全国高等学校文化連盟研究大会（岐阜大会）	岐阜市：岐阜文化センター
	5	全国高等学校文化連盟実務担当者会議	岐阜市：岐阜文化センター
		第18回中国高校囲碁選手権大会	鳥取県
	20 ~ 21	第13回中国地区高校将棋選手権大会 第52回中国地区高校演劇発表会	島根県松江市：島根県民会館
1		山口中文連・高文連合同調査研究打ち合わせ会 第2回高文連専門部理事長会	山口中央高校 山口中央高校
2		第2回高文連企画運営委員会	山口中央高校
3	13	平成26年度中国地区高文連実務担当者会議 マーチングバンド・バントワリング講習会	鳥取県米子市：米子西高校
	28	第34回山口県高校器楽・管弦楽スプリングコンサート	サンビームやない
【その他】 県高校総合文化祭準備（実行）委員会 総合開会式（豊浦高校）・音楽4部門発表会（下関商業高校・下関地区） 美術・工芸部門（宇部高校）、書道部門（宇部西高校）、写真部門（新南陽高校）、 日本音楽部門（野田学園高校）、囲碁部門（徳山商工高校）、文芸部門（徳山高校） ※以上、主管校等を中心に開催予定 各専門部会・・・部長会をを中心に開催予定 各専門部研修会・・・県下各地において開催予定			

平成26年度 山口県高等学校文化連盟会計予算書

収入総額 ￥20,600,000
支出総額 ￥20,600,000

収入の部		(単位:円)		
区分	予算額	前年度予算額	増減(減△)	摘要
繰 越 金	4,024,011	3,185,691	838,320	
会 費	12,179,000	12,179,800	△ 800	
(内訳)				全日制350円×34,300人 定時制・総合支援学校 50円×1400人 学校負担金 100円×1040学級
補 助 金	4,244,000	4,244,000	0	
(内訳)				県総文祭補助金 全総文祭補助金
参加負担金	144,000	129,000	15,000	全総文祭
繰 入 金		0	0	
雑 収 入	8,989	1,509	7,480	定期利息、コピー機使用料等
合 計	20,600,000	19,740,000	860,000	

支出の部		(単位:円)		
区分	予算額	前年度予算額	増減(減△)	摘要
運 営 費	1,925,000	2,275,000	△ 350,000	
(内訳)				
事 務 費	400,000	400,000	0	事務機器維持費 事務用品 ホームページ維持管理費
通 信 費	350,000	250,000	100,000	電話 郵便 運送料等 傷害保険料
分 担 金	525,000	525,000	0	全国高文連会費 賛助会費 中国高文連分担金 県文連会費
賃 金	650,000	1,100,000	△ 450,000	事務補助賃金
会 議 費	1,700,000	1,600,000	100,000	全国(県外)会議 県内会議 会議用お茶 中国地区会議 研究大会参加費
事 業 費	16,340,200	14,487,000	1,853,200	
(内訳)				
県総文祭	6,420,000	6,128,000	292,000	
全総文祭	5,141,000	4,000,000	1,141,000	生徒旅費補助 引率旅費補助 運送費 参加負担金
自主事業	1,839,200	1,782,000	57,200	自主事業7公演 补助事業4公演
大会補助金	50,000	50,000	0	特別支援学校文化祭
専門部会費	2,490,000	2,187,000	303,000	研修費(通信費含む) 全国分担金 役員旅費保険
印 刷 費	390,000	330,000	60,000	集録 会報(2年分) 県総文連会計 封筒
中高連携費	10,000	10,000	0	中高文連交流事業
調 整 基 金	0	500,000	△ 500,000	
予 備 費	634,800	878,000	△ 243,200	
合 計	20,600,000	19,740,000	860,000	

平成26年度 調整基金会計予算書

前年度繰越	一般会計から繰入	今年度末残高
9,400,000	0	9,400,000

山口県高等学校文化連盟規約

昭和62年4月1日制定
平成元年4月1日改正
平成2年4月1日改正
平成3年4月1日改正
平成4年4月1日改正
平成6年4月1日改正
平成8年4月1日改正
平成9年4月1日改正
平成15年4月1日改正
平成16年4月1日改正
平成18年4月1日改正
平成20年4月1日改正
平成21年4月1日改正
平成22年4月1日改正
平成23年5月6日改正
平成25年5月10日改正

第1章 総 則

(名 称)

第1条 この連盟は、山口県高等学校文化連盟と称する。

(事務局)

第2条 本連盟の事務局を山口市宮島町6番1号山口中央高等学校に置く。

(目 的)

第3条 この連盟は、高等学校における生徒の創造活動の向上充実を図り、文化活動の健全な発展と芸術文化の振興に資することを目的とする。

(事 業)

第4条 この連盟は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事業を行う。

- (1) 山口県内の高等学校による文化行事の開催に関する事業。
- (2) 全国高等学校文化連盟が主催する行事への派遣に関する事業。
- (3) 芸術文化に関する研修会、講習会、鑑賞会、講演会等の開催に関する事業。
- (4) 高等学校等の文化活動に関する調査研究事業。
- (5) 高等学校による文化活動の国際交流に関する事業。
- (6) その他前条の目的の達成に必要な事業。

(組 織)

第5条 この連盟は、山口県内の公立及び私立すべての高等学校（中等教育学校後期課程を含む。以下、「高等学校」という。）並びに高等部を設置している特別支援学校をもって組織する。

2 山口県内を七つの地域に分け、地域ごとに連合体を組織することができる。この場合において、地域の区分は、山口県高等学校校長会の区分と同じものとする。

第6条 この連盟に、次の専門部を置く。

2 演劇、器楽・管弦楽、合唱、吹奏楽、マーチングバンド・バトントワリング、日本音楽、吟詠
剣詩舞、美術・工芸、書道、写真、囲碁、将棋、放送、文芸、自然科学、小倉百人一首かるたの各部門とする。

第2章 役 員

(役 員)

第7条 この連盟に次の役員を置く。

- (1) 会長 1人
- (2) 副会長 若干人
- (3) 評議員 各加盟校ごとに1人
- (4) 支部長 7人
- (5) 専門部会長 16人
- (6) 専門部理事長 16人
- (7) 監事 2人
- (8) 参与 若干人

(役員の選出)

第8条 役員の選出は、次のとおりとする。

- (1) 会長及び副会長は、評議員の互選により選出する。
- (2) 評議員は、加盟校の校長をもって充てる。
- (3) 支部長・専門部会長・専門部理事長は、各地域及び専門部の推薦に基づき、会長が委嘱する。
- (4) 監事及び参与は評議員会の推薦に基づき、会長が委嘱する。

2 役員の兼任は妨げない。

(役員の職務)

第9条 役員の職務は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、この連盟を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときはその職務を行う。
- (3) 評議員は、評議員会に出席し、この連盟の事業について審議する。
- (4) 支部長・専門部会長・専門部理事長は、企画運営委員会を構成し、この連盟の会務を審議し、執行する。
- (5) 監事は、会計を監査する。
- (6) 参与は会長の諮問に応ずる。

(役員の任期)

第10条 役員は高等学校等に在職する者とし、その任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じたときは、必要に応じて補充する。ただし、任期は、前任者の残任期間とする。

第3章 会 議

(会 議)

第11条 この連盟の会議は、次に掲げるとおりとし、会長が必要に応じてこれを招集する。

- (1) 評議員会
 - (2) 企画運営委員会
 - (3) 理事長会
- 2 会議の議長は、会長がこれに当たる。
- 3 会議は、構成員の2分の1以上の出席がなければ、開会することができない。
- 4 会議の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長がこれを決定する。
- 5 会議に出席できない構成員は、代理人に表決を委任することができる。この場合において、前2項の規定の適用については、会議に出席したものとみなす。

(評議員会)

第12条 評議員会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 規約の制定及び改廃に関する事項
- (2) 予算及び決算に関する事項
- (3) その他、連盟の運営に係わる重要事項

(企画運営委員会)

第13条 企画運営委員会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 評議員から委任された事項
 - (2) 会務の運営及び執行に関する事項
 - (3) その他、連盟の運営に係わる軽易な事項
- 2 企画運営委員会に事業の運営及び執行のために委員会を置くことができる。
- 3 委員会は、事業を主管する学校長を委員長とし、委員として当該事業担当の教職員若干人及び専門教職員をもってこれに充てる。
- 4 委員会の委員の任命及び委員会議の招集は、委員長が行うことができる。

(理事長会)

第14条 理事長会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 企画運営委員会から委任された事項
- (2) その他各専門部の運営に係わる事項

第4章 会計

(経費)

第15条 この連盟の経費は、各高等学校等の加盟費、補助金、寄付金及びその他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第16条 この連盟の収支予算は、評議員会の決議により定め、収支決算は、会計年度終了後、監査を経て次の評議員会でその承認を得なければならない。

(会計年度)

第17条 この連盟の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(会計経理)

第18条 この連盟の会計経理の手続きについては、企画運営委員会の議決を経て、別に定める。

第5章 事務局

(事務局)

第19条 この連盟の事務を処理するため、事務局を置く。

(運営)

第20条 事務局の運営に関しては、企画運営委員会の議決を経て、別に定める。

第6章 雜則

第21条 この連盟の規約の施行について必要な事項は、評議員会の議決を経て、別に定める。

附 則

この規約は、昭和62年4月1日から施行する。

山口県高等学校文化連盟諸規程

[会計規程]

昭和62年4月1日制定
平成4年4月1日改正
平成5年4月1日改正
平成8年4月1日改正
平成20年4月1日改正
平成23年5月6日改正

第1条 この規程は、山口県高等学校文化連盟規約に基づき、会計経理に関し必要な事項を定めるものとする。

第2条 すべての収入、支出は予算に計上しなければならない。

第3条 会長は、収支予算書及び事業計画書の案を作成し、これを評議員会に提出しなければならない。

第4条 会計経理は、収入科目、支出科目及び整理科目を設けて経理の整理をし、現金及び預金出納簿を備え、全ての経理内容を記入するものとする。

第5条 会長は、決算報告書について、監事の監査を受けた後、これを評議員会に提出しなければならない。

第6条 各高等学校は、毎年5月31日までに、加盟費を納入するものとする。

加盟費内訳

①各高等学校生徒数に以下の金額を乗じたもの

(全日制生徒)	350円
(定時制、特別支援学校高等部生徒)	50円

②各学校の学級数に100円を乗じたもの。（定時制、特別支援学校は除く）

第7条 この規程の執行に関し必要な事項は、会長が定める

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

[事務局規程]

昭和62年4月1日制定
昭和62年7月14日改正
平成23年5月6日改正

第1条 この規程は、山口県高等学校文化連盟規約に基づき、事務局の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

第2条 事務局に次の職員を置く。

（1）事務局長

（2）事務局員 ア 事務局次長 イ 総務係 ウ 会計係

第3条 事務局長は、会長の命を受け、事務局の事務を統括する。

第4条 事務局次長は、事務局長を補佐する。

第5条 事務局総務係は、事務局長の命を受け、総務・企画・文書等に関する事項を分掌する。

第6条 事務局会計係は、事務局長の命を受け、会計に関する事項を分掌する。

第7条 事務局の会計に関する規程その他事務処理上必要な諸規程は、別に定める。

第8条 その他事務局の細目的事項は、会長が別に定める。

第9条 会長が命令する出張等の旅費は、山口県旅費規程に準じて支給する。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

山口県高等学校文化連盟表彰規程

昭和62年4月1日制定
昭和62年7月14日改正
平成元年4月1日改正
平成2年4月1日改正
平成6年4月1日改正
平成8年4月1日改正
平成15年4月1日改正
平成18年4月1日改正
平成24年5月11日改正
平成25年5月10日改正
平成26年5月9日改正

第1条 山口県高等学校文化連盟規約第4条6号に基づく表彰規程を次のように定める。

(表彰の種類)

第2条 本規程に基づく表彰は、次のとおりとする。

- (1) 文化功労賞
- (2) その他、会長及び企画運営委員会が必要と認めたもの

(文化功労賞)

第3条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の生徒であって、当該年度の卒業予定者を対象として授与する。

第4条 受賞人員は在籍生徒数120名に対し1名の割合を原則とする。

第5条 本賞の受賞者の選考は、当該学校に一任する。

第6条 本賞の受賞者の選考基準は、次のとおりとする。

- (1) 人格、識見共に優秀と認める者
- (2) 芸術文化活動歴が優秀である者、ただし、その活動は学校の内外を問わない。

第7条 各学校は、受賞者を決定し、別記様式(1)により、本連盟事務局あて報告するものとする。

第8条 本賞の授与は、卒業式に関する行事に際し、施行することを原則とする。

(その他、会長及び企画運営委員会が必要と認めたもの)

(優秀芸術文化賞)

第9条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の生徒であって、各専門部において、全国大会等で特に優秀な成績をおさめたと認められた個人並びに団体を対象とする。

(功績賞)

第10条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の教職員であって、長年にわたり本連盟の発展に寄与した者を対象とする。表彰は退職する年度または退職後に行う。ただし、専門部理事長を3期6年勤めた者は退任時に表彰することができる。

(優秀指導者賞)

第11条 本賞は、第10条功績賞対象者のうち、全国高等学校総合文化祭表彰規定により表彰された部の

指導を行った者を対象とする。

第12条 第9条、第10条、第11条の授賞については、高文連企画運営委員会に諮り、これを決定する。

本賞の授与は県総文祭の総合開会式で行うことを原則とする。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から施行する。

山口県高等学校文化連盟旅費支給基準

[旅費支給基準]

昭和62年4月1日制定
昭和63年4月1日制定
平成元年4月1日制定
平成11年4月1日改正
平成13年4月1日改正
平成16年4月1日改正
平成22年4月1日改正

第1条 会長が招集する会議等の旅費は、山口県旅費規程に準じて支給する。

第2条 県総文祭の運営に関する旅費は、委託された主管校から山口県旅費規程に準じて支給する。

第3条 全国高等学校総合文化祭に関する旅費は引率教員は山口県旅費規程に準じて支給する。

生徒は、〔交通費実費（学割・団体割引）+宿泊費（大会規定料金）×2泊〕×1/3とする。

※新幹線のみで100km以上の場合は特急指定料金を含む。（ただし県内は除く）

※在来線で100km以上の場合は急行または特急指定料金を含む。（ただし県内は除く）

[調整基金細則規程]

第1条 規約第4条の事業を円滑に遂行し、財務の健全化を図るため調整基金を設ける。

第2条 調整基金の額は、年度予算に計上して積み立てるものとする。

第3条 調整基金に属する現金は、金融機関への預金等最も確実な方法により保管するものとする。

第4条 調整基金は、事業執行上の財源が著しく不足する場合において、当該不足分を補うための財源に充てるときに限り、評議員会の決議によりこれを処分することができる。

附 則

1 この規程は、昭和62年4月1日から施行する。

2 この細則の施行前の調整基金については、この細則による執行とみなす。

平成25年度 山口県高等学校文化連盟役員一覧

職名	氏名	支部・専門部	所属校
会長	西村佳子		山口中央高
副会長	藤澤田正伸		徳山高
	倉花田信治		柳井高
	花田崇		慶進
参支部長	浅原司		山口高
	松根健	岩柳国	高高
	倉伸治	井支	高高
	藤正	山支	高高
	藤勇	防支	高高
	藤時	宇支	高高
	藤井	下支	萩西
	時田	長支	高高
	坂光	柳德	高高
	坂治	山防	高高
	坂喜	北宇	高高
専門部会長	根田時	下長	宇南
	澤山善	柳劇	下野
	井朗	樂器	田南
	坂夫	管合	学園
	坂正	弦唱	高城
	坂勇	奏マーチ	付
	坂善	音本	短期
	坂祐	詩詠	大学
	坂芳	工術	井高
	坂喜		西陽
	坂治		西
	坂朗		丘山
	坂紀		山
	司彦		柳下
	司正		新宇
	司善		下光
	司知		德宇
	司清		下高
	司部		南南
	司休		関高
	司坂		南高
	司永		高高
	司光		高高
	司坂		高高
	司浩		高高
	司信		高高
	司朗		高高
専門部理事長	根見時	演劇	宇南
	根博正	樂器	下野
	見善	管合	田南
	藤知	弦唱	学園
	藤清	奏マーチ	高城
	藤部	音本	付
	休伸	詩詠	短期
	休祐	工術	大学
	休善		井高
	休祐		西陽
	休善		西
	休正		丘山
	休善		山
	休博		柳下
	休良		新宇
	休達		下光
	休部		德宇
	休和		下高
	休勝		南南
	休明		関高
	休廣		南高
	休範		高高
	休和		高高
	のぞみ		高高
監事	植山	演劇	宇南
	山本	樂器	下野
	本貴	管合	田南
	司榮	弦唱	学園
	司司	奏マーチ	高城
	司司	音本	付
	司司	詩詠	短期
	司司	工術	大学
	司司		井高
	司司		西陽
	司司		西
	司司		丘山
	司司		山
	司司		柳下
	司司		新宇
	司司		下光
	司司		德宇
	司司		下高
	司司		南南
	司司		関高
事務局長	西細中	演劇	宇南
事務局次長	西細中	樂器	下野
事務局員(総務)	西細中	管合	田南
事務局員(会計)	西細中	弦唱	学園
事務局員(庶務)	西細中	奏マーチ	高城
	佐佐	音本	付
	佐佐	詩詠	短期
	佐佐	工術	大学
	佐佐		井高
	佐佐		西陽
	佐佐		西
	佐佐		丘山
	佐佐		山
	佐佐		柳下
	佐佐		新宇
	佐佐		下光
	佐佐		德宇
	佐佐		下高
	佐佐		南南
	佐佐		関高

平成26年度 山口県高等学校文化連盟役員一覧

職名		氏名		支部・専門部										所属校	
会長	副会長	西澤佳子	藤倉正治											山口中央高	校校校校校
会長	副会長	藤田伸芳	中村喜一											山口高	校校校校校
支部長	支部長	伴浩一	松本治治	岩柳健伸	根井信治	国井利治	支部	岩柳高	校校校校校						
支部長	支部長	佐藤伸正	藤宮政祐	柳澤地祐	藤田龍祐	山防祐	山防祐	山防祐	山防祐	山防祐	山防祐	山防祐	山防祐	柳徳高	校校校校校
専門部会長	専門部会長	中村下長	中村治範	宇治山	宇治山	宇治山	宇治山	宇治山	宇治山	宇治山	宇治山	宇治山	宇治山	宇治高	校校校校校
専門部理事長	専門部理事長	中村龍博	中村彦治	見本正治	佐藤龍治	佐藤知実	演劇	樂器	樂器	樂器	樂器	樂器	樂器	宇下高	校校校校校
監事	監事	中村幸博	中村博良	中村一也	中村洋子	中村利史	管	合唱	合唱	合唱	合唱	合唱	合唱	下野高	校校校校校
事務局長	事務局次長	中村正和	佐藤明木	佐藤千尋	佐藤和	佐藤晶	弦	唱	唱	唱	唱	唱	唱	南園高	校校校校校
事務局員(会計)	事務局員(庶務)	佐々木	佐々木	佐々木	佐々木	佐々木	樂	樂	樂	樂	樂	樂	樂	高城高	校校校校校
		青	青	青	青	青	樂	樂	樂	樂	樂	樂	樂	鴻大学付属高校	

全国高文連の歌

全国高等学校文化連盟制定
向川栄美作詞
乗松美紀作曲



1. てをのばせばほら きっとだれかがささえてくれる
2. よびかければほら きっとだれかがこたえてくれる



みーわたせ 一ば ほら なかまがいつでもそばにいる きみ
こころをひらけば ほら なかまがいつでもまっている きみ



は ひとりじゃない さあ ある きだ そ う
は ひとりじゃない さあ は ばた こ う



ぼくらのぶんかを つく る ため 一 に
ぼくらのぶんかを きずく ため 一 に

全国高文連の歌

一、手を伸ばせばほら

きっと誰かが支えてくれる

見渡せばほら

仲間がいつでもそばにいる

君は一人じゃない

さあ歩きだそう

僕等の文化を創るために

二、呼びかけばほら

きっと誰かが応えてくれる

心を開けばほら

仲間はいつでも待っている

君は一人じゃない

さあ翔こう

僕等の文化を築くために

山口県高等学校文化連盟
「高文連」編集委員

(各部門)

演劇	新竹伸芳	(宇部高等学校)
器楽・管弦楽	飯田幸生	(下関南高等学校)
合唱	田中睦	(野田学園高等学校)
吹奏楽	志道博資	(宇部高等学校)
マーチング・バントワーリング	内田良一	(山口県鴻城高等学校)
日本音楽	吉原達也	(下関短大付属高等学校)
美術・工芸	濱崎洋	(柳井高等学校)
書道	河合和子	(下関西高等学校)
写真	尾崎勝利	(新南陽高等学校)
囲碁	栗林浩治	(宇部高等学校)
将棋	尾崎明弘	(下関西高等学校)
放送	光田広美	(光丘高等学校)
文芸	桑原範恵	(徳山高等学校)
自然科学	大田和子	(宇部高等学校)
小倉百人一首かるた	青池のぞみ	(下関南高等学校)
事務局長	西村正浩	(山口中央高等学校)
事務局次長	細川邦隆	(防府総合支援学校)
事務局員(総務)	中村沙也佳	(山口中央高等学校)
事務局員(会計)	佐々木靖子	(山口中央高等学校)
事務局員(庶務)	佐賀ひろ子	(嘱託)



平成25年度
山口県高等学校文化連盟集録
「高文連」

編集・発行 山口県高等学校文化連盟事務局
〒753-0043 山口市宮島町6-1
山口県立山口中央高等学校内
電話 083-922-0032
FAX 083-932-0813

表紙デザイン／平尾佳菜子
(山口中央高校2年)

